

平成17年度  
市民企画事業補助金



成果報告書

八王子市

平成18年7月

# 目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧表	4
5	事業成果報告	5
	(1) Myお手玉でお手玉遊び	6
	(2) 八王子生まれのネオテニス普及推進活動	8
	(3) ムッシュ手づくりパンの会	10
	(4) この料理ってどこから来たの？	12
	(5) 夢あるまちづくり	14
	(6) 市民の立場でごみ問題を考える(エコイベントの企画から実施まで)	16
	(7) 「証言」集の発行で被爆体験を後世に	18
	(8) 環境教育推進活動	20
	(9) バリアフリー調査	22
	(10) 長池こどもの居場所作りの会	24
	(11) 親子で体感 生きた言葉と楽しいコミュニケーション	26
	(12) 学校図書館支援講座	28
	(13) 特定非営利活動法人八王子チャイルドライン「コッコロ」児童虐待防止事業	30
	(14) 東京スポーツビジョン21 スポーツクラブ活動事業	32
	(15) 生活習慣病が気になる方の食教室	34
	(16) 『わくわく子ども発明塾』	36
	(17) 介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	38
	(18) ふるさとの食を拓く	40
	(19) 学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！	42
	(20) 炭やきは地球を救う！ 市民炭やき体験と国際交流	44
	(21) 認知症なんてこわくない！	46
	(22) まちかど景観レポート募集と発表展示会開催	48
	(23) 八王子アマチュア映像祭	50
	(24) NPO 法人子どもネット“八王子”子育て支援事業	52
	(25) 地域特産品の開発(特に桑葉粉製食料品)	54
	(26) 八王子ラーメンマップ作成	56
	(27) COOL DESIGN CONTEST	58
	(28) たまり場コーディネート・プロジェクト	60
	(29) 30周年記念公募第34回八王子アンデパンダン展	62
	(30) 支援者研修(カウンセリング)講座	64
	(31) 映像文化の普及を通じて地域コミュニティに参加	66
	(32) つくろう市民のITセーフティネット、なくそうデジタル・デバイド	68
	(33) 障害者のアクターズスクール(舞台人演劇人養成講座)推進事業	70
6	成果報告会アンケート結果集約表	72
7	交付団体連絡先一覧	80

# 1 市民企画事業補助金の概要

## (1) 市民企画事業補助金とは

市内で活動する団体が、地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、その経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募方式により募集し、厳正な審査を経て決定します。

## (2) 補助の内容

補助対象事業には、以下の2部門があります。

活動支援 部 門	<p>すでに公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介するために要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費 ただし上限10万円（千円未満切り捨て） 補助回数・・・ 同一団体2回まで補助を受けることができます。</p>
事業実施 部 門	<p>市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や、将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費の1/2以内 ただし上限100万円（千円未満切り捨て） 2年目以降は補助対象事業費の1/3又は前年度交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、とします。 補助回数・・・ 同一の事業に対して3回まで補助をうけることができます。</p>

## (3) 補助事業の採択

庁内審査会による予備審査、有識者・学生等で構成する「市民企画事業補助金審査委員会」による本審査を行い、その審査結果（補助対象事業の選考及び交付額の査定結果）をもとに決定します。

活動支援部門については、書類審査のみ行います。

事業実施部門については、予備審査で書類審査を行った後、本審査では、書類審査のほか、一般公開でのプレゼンテーションも審査の対象とします。

審査項目は下表のとおりです。

区 分	活動支援部門	事業実施部門
予備審査	公益性 計画性 継続性 補助金交付の必要性	政策合致性 計画適切性 市民ニーズの高さ・緊急度 八王子らしさ 補助金交付の必要性
本審査	目的達成可能性 説得性 期待度	社会貢献度 将来性 創意工夫 新規性

本概要は17年度の概要であり、18年度以降は内容に変更があります。

18年度の内容は、市のホームページ等で確認できます。

## 2 事業成果報告等の経過

### (1) 情報交換会

日 時 平成17年10月17日(月) 14:00~16:00

場 所 市役所 903、904 会議室

参加団体 27 団体

《情報交換会の様子》



### (2) 成果報告会

日 時 平成18年5月28日(日) 13:00~17:15

場 所 北野市民センター ホール

報告団体 30 団体

《成果報告会の様子》



### (3) 「成果報告書」の発行 平成18年7月

### 3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 玉野 和志

平成15年度から始まった八王子市の「市民企画事業補助金制度」も、17年度で3度目の成果報告が行われた。この補助金制度は最長で3年間の継続が認められているので、初年度から継続してきた事業もいよいよその最終年度を迎えることになった。同時に、この3年間で申請する団体の顔ぶれも大きく変わってきたことが確認できる機会ともなったように思う。以下、その成果報告会の印象などを中心に、若干の講評としたい。

まず、最初に指摘しなければならないのは、この「市民企画事業補助金制度」がすっかり定着し、適切な運用がなされるようになったことである。過去2年度には、制度的な趣旨の不徹底や、申請団体の側での思い違いなどもあって、何らかの不満や困惑した部分のある点が指摘されることもしばしばであった。しかしながら今回は、当初の計画通りにいかず、残念な部分があったという報告は見られたが、制度そのものの趣旨や補助のあり方についての不都合や不便が表明されることは、ほとんどなかったように思う。

それは、これまで指摘された制度的な困難にたいして行政側が最大限の対応を行い、別の取り組みや施策との連携をとるなどの努力を重ねてきたことや、制度そのもののあり方を見直し、いらぬ混乱のないようにつねに修正の努力をしてきたことの成果であるといつてよい。しかしながら制度が定着することで、この制度に対応できる団体だけに申請が限られてきたという見方もできるわけで、この点は今後この事業を通した新しい団体の育成や、市民の側での新たな対応を期待したい。昨年度はこれまでになかったタイプの団体の台頭が目立ただけに、この点で制度が定着し、落ち着いてきたと思われる半面、若干物足りない印象をもったことも確かである。それはある意味でぜいたくな感想なのかもしれないが、今後の動向に注意したいと思う。

「市民企画事業補助金制度」もこれで3年度の成果報告を終え、4年度分の審査が行われたことになる。この間、さまざまな紆余曲折をへながらも、行政側の担当部局をはじめとした誠意ある対応や、制度の修正および広報などの努力、そしてなにより各申請団体の理解と協力によって、当初の予想以上の成果を上げることができたように思う。これまでの成果報告会によって、このような制度の定着と成果を確認できたことを市民とともに喜びたいと思う。以前に比べると、成果報告会に足を運んでくれた一般市民の方も少し増えたようで、大変喜ばしいことである。ただ、一部の団体が欠席し、せっかくの機会を生かすことがなかったことは、大変残念であったことを申し添えておきたい。

# 4 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	事業名	団体名	事業内容	補助対象事業費	補助金交付額	
活動支援	Myお手玉でお手玉遊び	八王子お手玉の会	お手玉づくりと遊び方、楽しみ方の講習会の開催、お手玉遊びの実施、イベントへの参加により、お手玉を広める活動を行う。	134,444	100,000	
	八王子生まれのネオテニス普及推進活動	八王子市ネオテニス協会	八王子生まれのネオテニス普及のためのパンフレット作成及び協会設立記念オープン大会の開催。	159,667	100,000	
	ムッシュ手づくりパンの会	ムッシュ手づくりパンの会	手作りパンの製造・販売による精神障害者のサポートを市民に周知するためパンフレットを作成。	100,026	100,000	
	この料理ってどこから来たの？	クッキング ピィ	食のルーツを歴史的、社会的に研究。それらを市民に広げるため広報誌・ホームページを開設。	220,844	100,000	
	夢あるまちづくり	夢あるまちづくり協議会	安全安心なまちづくり、住民の夢を実現させる活動、商店街の活性化・循環型の環境づくり、心ふれあうまちづくり実現方法を検討するとともに、本協議会活動を地域住民に周知するための広報活動を行う。	107,104	100,000	
	市民の立場でごみ問題を考える（エコイベントの企画から実施まで）	サンエス企画	各種催しに参加し、使い捨て容器のリサイクル化を市民に広める。活動パンフレット・情報誌を作成する。	101,713	100,000	
	計				823,798	600,000
事業実施	「証言」集の発行で被爆体験を後世に	八王子市原爆被爆者の会（八六九会）	市内在住の被爆者から体験談を募り、証言集を発行。	2,514,103	1,000,000	
	環境教育推進活動	八王子環境教育研究会	環境問題についての観覧会、生物の生息調査、野外教室、大気汚染調査、花炭づくり。	262,050	120,000	
	バリアフリー調査	ぱりあ・ふりいの会	施設調査を実施し、バリアのないまちづくりを提案する。	133,800	65,000	
	長池こどもの居場所作りの会	長池こどもの居場所作りの会	長池地区の子供たちを対象に、自由に利用できる居場所の提供。子供たちが企画するイベントのサポート。	321,521	160,000	
	親子で体感 生きた言葉と楽しいコミュニケーション	特定非営利活動法人八王子子ども劇場	母親を対象としたコミュニケーション講座、乳幼児から高齢者までを対象としたわらべ唄講習会及び親子を対象とした朗読劇鑑賞会の開催、市民による朗読劇上演。	1,569,340	784,000	
	学校図書館支援講座	八王子に学校図書館を育てる会	学校図書館のあり方についての講座開催、施設見学、講演会、ボランティア団体との交流会	240,284	120,000	
	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン「コッコロ」児童虐待防止事業	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン	児童虐待防止のため、子供を知る講座、児童虐待防止講座を開催。	431,571	215,000	
	東京スポーツビジョン21スポーツクラブ活動事業	特定非営利活動法人東京スポーツビジョン21	一輪車教室、タグラグビー体験、八王子FC杯開催。	365,500	182,000	
	生活習慣病が気になる方の食教室	八王子管理栄養士の会 ダイエタリー・フレンズ	生活習慣病患者、予備軍市民を対象とした食教室。料理講習会。栄養相談。	246,861	123,000	
	『わくわく子ども発明塾』	特定非営利活動法人発明協会	子どもたちの自由な発想で新しいものを創る楽しさや喜びを実感し、仲間と出会う機会や環境を提供するとともに創作品の発表会を実施。	430,598	200,000	
	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	特定非営利活動法人ワークスコープ	ケアワーカーが専門性を身に付けるための研修。高齢者対象の健康づくり講座。介護予防のリスク判定、予防支援。	1,941,276	965,000	
	ふるさとの食を拓く	NPOふるさとの食を拓く会	「ふるさとの食」に関する調査研究、調理体験、フォーラム・ワークショップ。地産地消推進。	838,838	200,000	
	学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！	八王子学生郷土さがし隊！！	学園都市八王子ならではのお土産品を研究し、情報発信を行う。	300,679	150,000	
	炭やきは地球を救う！ 市民炭やき体験と国際交流	エコ・ネットワーク八王子	留学生と市民が交流できる炭焼き体験教室実施。炭焼きアドバイザー育成教室実施。環境イベントへの協賛。	676,218	281,000	
	認知症なんてこわくない！	特定非営利活動法人らいふねっとMOE	痴呆に関するセミナー実施。セミナー参加者の集いの場提供。相談窓口設置。	214,008	107,000	
	まちかど景観レポート募集と発表展示会開催	特定非営利活動法人らいふ舎	身近な町の景観・行事を市民公募でレポートさせ、審査。その結果を発表展示。	1,463,355	703,000	
	八王子アマチュア映像祭	八王子アマチュア映像協会	初心者ビデオ編集講座修了者の成果発表の場として映像祭を実施。	246,473	80,000	
	NPO法人子どもネット“八王子”子育て支援事業	特定非営利活動法人子どもネット“八王子”	子育て支援プレセミナー、子育て講座「よりよい親子関係を築く」及び子育てサポーター養成講座の開催。	438,281	146,000	
	地域特産品の開発（特に桑葉粉製食料品）	特定非営利活動法人地域生活文化研究所	桑を利用した特産品の開発、定着を図るための販売体制整備、PR	1,245,911	400,000	
	八王子ラーメンマップ作成	八麺会	ラーメンを八王子の観光の核とするため、八王子ラーメンマップを作成し、ホームページで公開する。	851,289	280,000	
	COOL DESIGN CONTEST	八王子商店研究会	グラフィックデザインを募集、選考し、店頭での活用を通し、デザインセンスのある街並みづくりを提唱。	702,448	230,000	
	たまり場コーディネート・プロジェクト	八王子子どもの居場所づくりプロジェクト	子どもたちの活動の支援者等サポート事業。子どもの遊びを見守る大学生のリーダー養成。	603,266	200,000	
	30周年記念公募第34回八王子アンデパンダン展	美術集団八王子アンデパンダン	無償、無審査の美術公募展。30周年記念として、過去の作品展示、記念冊子発行、美術映画等を企画。	816,164	80,000	
	支援者研修（カウンセリング）講座	特定非営利活動法人日本ウェルネット	心のカウンセリング講座実施、カウンセリング意識調査、相談員のカウンセリング力向上研修。	1,180,757	390,000	
	映像文化の普及を通じて地域コミュニティに参加	八王子ビデオクラブ	市民取材協力活動による「地域映像記録」の制作及びビデオ祭り、コンテストの実施。	775,407	256,000	
	つくりう市民のITサーフェティネット、なくそうデジタル・デバイス	情報ボランティアの会（八王子）	市民のためのパソコン、インターネット相談会、パソコンとインターネット祭り、障がい者のパソコンサポートボランティア養成	263,788	80,000	
	障害者のアクトーズスクール（舞台人演劇人養成講座）推進事業	AIR - 空 - パフォーミング・アーツ研究会	公募形式による障害者の可能性を生かすため、舞台人、演劇人養成講座開催と発表。	2,136,086	500,000	
	計				21,209,872	8,017,000
	合計				22,033,670	8,617,000

## 5 事業成果報告

(1) My お手玉でお手玉遊び	6
(2) 八王子生まれのネオテニス普及推進活動	8
(3) ムッシュ手づくりパンの会	10
(4) この料理ってどこから来たの？	12
(5) 夢あるまちづくり	14
(6) 市民の立場でゴミ問題を考える（エコイベントの企画から実施まで）	16
(7) 「証言」集の発行で被爆体験を後世に	18
(8) 環境教育推進活動	20
(9) バリアフリー調査	22
(10) 長池こどもの居場所作りの会	24
(11) 親子で体感 生きた言葉と楽しいコミュニケーション	26
(12) 学校図書館支援講座	28
(13) 特定非営利活動法人八王子チャイルドライン「コッコロ」児童虐待防止事業	30
(14) 東京スポーツビジョン21 スポーツクラブ活動事業	32
(15) 生活習慣病が気になる方の食教室	34
(16) 『わくわく子ども発明塾』	36
(17) 介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	38
(18) ふるさとの食を拓く	40
(19) 学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！	42
(20) 炭やきは地球を救う！ 市民炭焼き体験と国際交流	44
(21) 認知症なんてこわくない！	46
(22) まちかど景観レポート募集と発表展示会開催	48
(23) 八王子アマチュア映像祭	50
(24) NPO 法人子どもネット“八王子”子育て支援事業	52
(25) 地域特産品の開発（特に桑葉粉製食料品）	54
(26) 八王子ラーメンマップ作成	56
(27) COOL DESIGN CONTEST	58
(28) たまり場コーディネート・プロジェクト	60
(29) 30周年記念公募第34回八王子アンデパンダン展	62
(30) 支援者研修（カウンセリング）講座	64
(31) 映像文化の普及を通じて地域コミュニティに参加	66
(32) つくろう市民のITセーフティネット、なくそうデジタル・デバイド	68
(33) 障害者のアクターズスクール（舞台人演劇人養成講座）推進事業	70

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則、団体から提出された原稿をそのまま掲載させていただいております。

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	My お手玉でお手玉遊び		
団体名	八王子お手玉の会		
事業費	134,444 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的 本来なら親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた伝承遊び(お手玉遊び)も生活様式の変化に伴い核家族化した今日、その継承が断たれようとしています。お金を出せば何でも買える今だからこそ、物を大切にしてお年寄りの知恵を生かし、少しの端布で出来るお手玉作りと遊びを通して、手作りの味わいと温もりを分かち合いたい。少しの時間ひとりでも、友達みんなとでも、お母さん、お父さんとでも出来るバリエーションに富んだ遊び方や、自分で工夫しても出来る楽しさを一緒に味わいたい。子供の遊びもお稽古、塾通い等で、家でのテレビゲームが多くなっているように見受けられます。ゲーム脳の回復にもお手玉は良いとされています。(ゲーム脳の恐怖 森 昭雄著より) 動体視力を養い、瞬時に物を判断する力を培い、集中力を高め、脳の活性化にも良いとも言われています。(お手玉が癒す心と体 医学博士 中野和彦著より) お手玉を媒体に中高年齢者の居場所と、子供の居場所とを結びつけ、多世代交流が図れたら良いと思います。</p>
	<p>内容</p> <p>『My お手玉で お手玉遊び』何時でも、何処でも、誰とでもお手玉遊びが出来るように、お手玉作りと、遊び方、楽しみ方の講習会を行う。</p> <p>受け入れ先の希望日をお手玉遊びの日として学童とお手玉遊びを行う。</p> <p>自由参加の『作って遊ぼう お手玉遊び』をいちょう祭りで行う。</p>

事業の実績	6月11日(土)『My お手玉で お手玉遊び』講習会 於 学園都市センター	1回
	募集人数 20名 参加者21人・・・2名当会に入会	
	3月11日(土)『My お手玉で お手玉遊び』講習会 於 学園都市センター	1回
	募集人数 20名参加者32人・・・2名当会に入会	
	保育園 4園 (1園は敬老の日の集い、2園は毎月1回定期的に行う、1園は1回)	19回
	児童館&学童保育所 8館 (内3館はお手玉クラブとし毎月或いは隔月に行った)	27回
	小学校 7校 (1校養護学校	2回
	1校 1・2年生生活科、総合学習の授業 計6時間	2回
	1校 3年生 昔の暮らし 2時間	1回
	2校 サタデースクール	5回
1校 児童館の遊びの広場・PTA 有志遊びの文化	2回	
1校 北野出張児童館による)	2回	
市外小学校 1校 市外での学校 4・5・6年生お手玉教室	1回	
いちょう祭り 11月19日～20日 作って遊ぼう My お手玉で お手玉遊び	2回	
他	2回	





事業の成果・効果	<p>児童館・学童保育所等の先生方の熱心な取り組みにより、お手玉クラブを結成して下さり定期的に活動できたことにより、学童はお手玉遊びの面白さを分り、集中するようになり、2個はほぼ全員が出来るようになった。</p> <p>おばあちゃんの温もりを分かťことが出来た。</p> <p>お手玉遊びを始める前と、終わりに正座でのご挨拶を取り入れることにより、物事のけじめがつき姿勢も良くなり、上履きもきちんと揃えて待つて居てくれるようになった。</p> <p>講習会案内の広報活動により、各新聞が掲載してくれ、お手玉に対する関心度が高まった。</p> <p>中高齢者の方は座布団型のお手玉の作り方を理解していると考えていたが、講習会でそうでない事が分かり、作り方と遊び方のコツを理解して頂き、お手玉遊びの支援者を増やす事が出来た。</p> <p>学校での授業での取り組みにより、学童や若いお母さんがお手玉に関心を持ってくれた。</p> <p>いちょう祭りに、親子・父子での参加があり家族のコミュニケーションに一助出来た。</p> <p>市民企画補助金制度のホームページを見た東京新聞の記者の取材を受け、掲載されたことにより多くの反響を呼び、布を送って頂くなど支援を受けた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>実施計画書の活動費の内訳に変更はないが、講習会会場費、傷害保険料や、又当初考えていた活動より多くの依頼を頂き、材料費等に不足を生じたが、講習会材料代・お手玉売り上げの収入で補う事が出来た。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>市民企画補助金制度の支援部門に採用された事により、信用と信頼を得る事が出来た。子どもがお手玉をした事により家庭の中にもお手玉が置かれるようになった。『お手玉』という言葉だけで中高齢者の方は、共通の話題を持ち、初対面の人ともすぐに打ち解けられる事が分つた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今年度の活動を継続し更に、中学生・高校生にもお手玉の輪を広げる活動を行う。</p> <p>お手玉の拾い玉(おさらい)を行う。</p>
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子生まれのネオテニス普及推進活動		
団体名	八王子市ネオテニス協会		
事業費	159,667円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>* 平成16年11月に八王子生まれのネオテニス協会を設立。誰でも、どこでも、気軽にでき、安価な道具で、健康増進につながるネオテニスを八王子生まれの生涯スポーツとして広く普及するため。</p> <p>1. PR用パンフレットを作成し、八王子で生まれたネオテニスを、市民をはじめ多くの方々に知っていただくために広報活動をする。</p> <p>2. ネオテニスオープン大会を開催して、ネオテニスの楽しさを市民はじめ、多くの人たちにアピールするための誰でもが参加できる大会を開催する。</p>
	<p>内容</p> <p>* 八王子生まれのネオテニスを普及するためのPRパンフレット及びルールブックを作成（作成部数はPR用パンフレット500部・ルールブック500部・大会要綱550部）</p> <p>* ネオテニス協会設立記念大会の開催 開催日：平成17年9月25日（日） 場所：首都大学東京 南大沢キャンパス体育館 参加人数：240名（大会役員含む）</p>

事業の実績	<p>4月の理事会で八王子市ネオテニス協会設立記念大会に向けて、事業委員会を中心に大会準備を進め、5月には、PR用パンフレット・大会要綱・大会内容等を含め審議、また、大会の進め方の検討、6月には大会要綱及びPR用パンフレットの主旨等を協議し印刷・作成、はちおうじ広報へ記載依頼をした。7月には大会要綱やPR用パンフレットを八王子市民体育館や各事務所、市民センター等に提示する手配を行った。8月15日号はちおうじ広報等により一斉に受付を開始した。また、大会運営等各種準備を進めた。9月4日には参加チームのキャプテン会議及び組み合わせ・大会の共通事項の申し合わせ事項の会議を行った。9月25日の大会当日は午前8時より役員による会場準備を進めた。参加者の方々も早くから会場に集まり、開会式前には参加者すべての人が集合した。参加者の熱意と意気込みが現れていた。市内のネオテニスの愛好者はじめ、東大和市チームを含め参加者約230名で9コートに分かれ大会が開催された。10月には大会の反省会及び中間決算報告を、11月には報告書の作成・提出を行った。</p>
-------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 協会設立後初めての大きな大会であった。協会の事業委員会を中心に理事役員とが一丸となってこの大会の準備を行うこととなり、協会内の方々の結束力が深まった。市民の多くの方に如何に PR 活動を行うかのパンフレット作成や大会要綱の作成、ルールブックの見直しやネオテニスの愛好家の方々に競技のルールをどう浸透して統一していくかと考え、競技に必要な審判講習会を開催しました。また、協会内の各チームの自由参加によるリーグ戦を開催し、どの程度の技術を持ち合わせているか競技の時間等のかかり具合等を見たりした。</li> <li>* 八王子市レクリエーション協会に加盟しており、今年は東京都が全国レクリエーション大会の会場となり、その大会のニュースポーツ紹介イベントに八王子生まれのネオテニス選ばれた。9月19日に国立オリンピック記念青少年総合センター体育室にて開催され、都内をはじめ各県の体育及びレクリエーション、行政の関係者に八王子生まれのネオテニスを PR できたことは大変良かった。</li> <li>* 市民企画事業として八王子市はもとより全国的に知らしめたことは今後の発展につながることである。これを機会に、今後とも精進して市内愛好者を増やし市民の健康増進の一役となればと協会役員はじめ委員の皆様と頑張っていきたいと思えます。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p style="text-align: center;">できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p style="text-align: center;">1 できた    概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p style="text-align: center;">ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>* 市民にネオテニス協会が発足し、活動を行っていることを市民に PR できたこと。そしてこの大会を通して今後の活動に生かすことができること。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>* この大会を契機に、継続して大会を開催していく。</li> <li>* 今後とも、市民に PR を継続して会員を増やし、協会を発展していく。</li> </ul>
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ムッシュ手づくりパンの会		
団体名	ムッシュ手づくりパンの会		
事業費	100,026 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 精神障害をもっている方の社会復帰の初歩としての場の提供
	内容 精神障害をもっている方をサポートしながら、手づくりパンの製造販売

事業の実績	<p>市民の皆様にはパン製造して売上げが上がり、精神障害の方もがんばって働きました。ムッシュ手づくりパンのチラシを作成して市民の皆様にご理解していただきました。週3回の製造で80個焼き(1回あたり) 鎌田 寛先生の講演会にチラシを配布致しました。12000部</p>
-------	---

**オヤジ! 手作りパンに挑戦してみませんか!**

趣味として手作りパンを作ることは、実にカッコイイ定年をむかえるあなたに最適なパン教室がここにある! 農機やお子様達、お孫達にあなたの手作りパンを食べて頂く、そんな日常を想像するだけでも楽しくありませんか?

**「趣味の延長線上でおいしい手作りパンの講習会に参加してみませんか?」**

ムッシュ手づくりパンの会は、パン作り30年のベテラン講師が、熱々な心で悩んでいる方に、パン作りの楽しさを通じて、社会復帰へのきっかけ作りのお手伝いをしたいと考えております。障害を持つ方の目途に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。その一環として定期的に手作りパン教室を実施し多くの方にパン作りの楽しさを広めていく活動をしております。

平成17年度八王子市市民企画事業補助金交付団

＜日時＞ 毎月第3土曜日 9:30～12:00  
 ＜場所＞ 横山事務所 2F 料理講習室  
 ＜定員＞ 20名 (随時入会できます)  
 ＜講師＞ 阿川 好夫  
 ＜費用＞ 1381500円 (講師料・食器使用料・材料費込み)  
 ＜持ち物＞ エプロン・おせん・三角巾・筆記用具

申し込みの問い合わせ先

電話・FAXは8時～18時まで  
 〒192-0902 八王子市上野町15-4 (女) 奥内 ムッシュ 手作りパンの会  
 ☎ 0426-27-3789 (月・水・金 10:00～14:00)  
 fax 0426-27-3789 携帯 090-3462-9656

後援: 東京都 八王子市 八王子市医師会 八王子市社会福祉協議会 東京都新聞

**「がんばらない」けど「あきらめない」**  
 —地域で健康で暮らすために—

鎌田 寛

講演会 2005.12.16(金)19:00 開演 (18時～19時)  
 八王子市民会館 自由席 1,500円 (12時～18時)  
 八王子市市民会館 市民会館 1F (12時～18時) (申し込み要)

講師: 鎌田 寛先生 (東京都立川市在住) 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長

主催: 鎌田 寛先生 (東京都立川市在住) 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長

協賛: 八王子市市民会館 八王子市医師会 八王子市社会福祉協議会 東京都新聞

お問い合わせ先: 鎌田 寛先生 (東京都立川市在住) 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長 元・日本赤十字社 東京都支部長

TEL: 0426-27-3789 FAX: 0426-27-3789

事業の成果・効果	<p>市民の皆様はこの会を知っていただき、ボランティアさんも集まり（10名）、通所者もとてもがんばって働き、パンの売上げも向上致しました。</p> <p>賛助会員も3名集まりました。</p> <p>障害者団体登録も出来ました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>障害者団体登録が出来ました。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>これからも、実績をつくる為、障害者一同がんばって活動していきます。</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	この料理ってどこから来たの？		
団体名	クッキング ビィ		
事業費	320,844 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b>                  国際学園都市八王子は、アジア圏からの学生が多く留学しています。その現状から国際交流を図るためのツールとして食があります。ただ、単純に食を食べて楽しむだけではなく、文化的に培われてきて、今、この食としてあるというルーツを、多くの市民に認知してもらい楽しんでもらうためにこの事業を企画しました。学生による食文化の研究を精進することにより、多くの交流をもたらし、八王子が国際的な学園都市として活性化させたいという目的もあります。</p> <p><b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八王子の食を研究する・勉強会を開催する。</li> <li>・ イベントに参加して、たくさんの市民に食を、食べると学ぶの両観点から楽しんでもらう。</li> </ul>
----------	--

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八王子学生委員会の主催事業 学生天国 に、協力団体として、ご当地食の提供と地域限定ラーメンやお菓子を企画・運営・販売。                  大学生の出身地域の食を調べ、調理方法等も調べ、メンバーと共有。                  お菓子やラーメンの取り寄せで、お互いの地域の文化に触れ、コミュニケーションのきっかけとなった。</li> <li>・ 第26回八王子いちよう祭りに喫茶 Mulberry で参加。                  東京家政学院大学の調理学研究室のご協力を頂いた。                  大学との協働を果たす。専門家の意見を取り入れていくことで、クオリティーが上がった。</li> </ul>
-------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子学生委員会主催 学生天国 では、100人以上の学生に協力をいただき、食について考えるきっかけを提供できた。 イベントということで、コミュニケーションを図る場面が多く、交流も多数見られた。</li> <li>勉強会の開催。イベント前より、イベント後にメンバーの意識の高揚が感じられ、積極的に調理、研究を進めるようになった。</li> <li>第26回八王子いちよう祭り時に、東京家政学院大学との協働により、展開した喫茶 Mulberry では、学園都市八王子ならではの複数大学の学生と市民との交流が図ることができた。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた      2 概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ      2 多少の変更があった      大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 積極的に行動を行ったため、活動費全体が上回る結果となった。
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	平成18年度に開催する学生アイデアコンテスト～桑の葉杯～の開催により、より広くPR活動を展開する。
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会		
事業費	107,104円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b></p> <p>昨今の高齢化・少子化現象や防犯上の不安な現状、及び地域の活性化が求められている現状を鑑み、地域の方々の御意見を広くお聞きするため学識経験者を交えて地域づくりの学習会及び意見交換会を開催した。</p> <p>その結果、参加者による地域の問題点・今後の希望、理想についての発表を通して、多数の方々がより良い地域をめざしていることが判明した。</p> <p>そこで地域づくりの学習会及び意見交換会での御意見を実現し、住民間の幅広い交流を行いながら市民活動の活性化を図る組織的活動が必要であると考え、本協議会を設立した。</p> <p>本協議会は地域に根ざした活動を目的としており、地域住民各位が本協議会活動に積極的に参加して頂くため、本協議会の諸活動を積極的に広報することとした。</p>
	<p><b>内容</b></p> <p>地域住民の安全と住み良いまちづくり実現のため、下記テーマ毎に検討課題を設定しその実現方法を検討するとともに、当該地域住民(約3,000世帯)に対し本協議会活動を周知するための広報活動を行う。</p> <p>安全、安心なまちづくり(グループ1活動) 防犯マップ作成、防災キャンプの企画広報</p> <p>住民各位の夢を実現するための活動(グループ2活動) 住民各位が要望する各種活動(生涯学習等)の企画広報</p> <p>商店街の活性化・循環型の環境作り(グループ3活動) 朝市、リサイクル学習会(生ゴミの堆肥化、廃油利用による石鹸作成等)企画広報</p> <p>心ふれあうまちづくりの実現(グループ4活動) 世代間交流の機会と場の提供、高齢者・子育て世代のたまり場・居場所づくりの企画広報</p>

事業の実績	<p>本年度の事業(企画)は、多少の時期的なずれはあったが、予定どおり実施できた。</p> <p>具体的な企画の実施内容は以下のとおり</p> <p>広報機関紙発行/歩こう会開催/ほたるを見る会/朝市開催/男の料理教室開催/緑の教室(リサイクル学習会)開催/防災キャンプ開催/鹿島納涼大会参加・運営協力/松が谷納涼大会参加・運営協力/鹿島・松が谷子ども祭り参加・運営協力/松が谷連絡協議会委員会への出席・報告/鹿島地区連絡協議会への出席・報告/デジタルハリウッド大学説明会参加/デジタルハリウッド大学三者協議会に住民事務局として参加</p>
-------	--





事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間の継続的な広報活動とバラエティに富んだ企画の実施により、認知度を高めることができ、また地域の皆さんの参加を得たことにより、地域の「夢あるまちづくり」に寄与できたと思う。</li> <li>● 本年度も鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から専門委員を派遣していただき、積極的な意見交換を通じて良好な協力関係を維持できた。</li> <li>● とりわけ防災キャンプは、市の後援を受け延べ83名の参加者を得て成功裡に実施できた。                  本企画については、7月のタウンミーティングで市長からも高い評価を受けた。また本番では協力いただいた八王子警察や消防関係者からも、初めてであり、かつ有意義であったとの評価を売ることができ、われわれの活動の手ごたえを感じることができた。警察には災害発生(擬似)から解除に至るまで会場周辺及び地域のパトロールをしていただいた。さらにFM多摩ならびに多摩ケーブルテレビから取材を受けるなど、会そのものと活動への関心を高めることができた。デジタルハリウッド大学の進出にあたっては、松が谷連絡協議会の委嘱を受け、大学、市、住民の三者協議会の住民事務局として活動を開始した。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 実施にあたってより詳細な検討修正をおこなったため。
	その他、評価すべき点等	かなり欲張った事業計画であったが、企画が多数あったことが会員並びに住民各位の関心持続につながっていると思う。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>さまざまな企画の実施ならびにそれに付随する広報活動を通じて本協議会の内容、活動方針等への地域の理解が深まってきており、さらに1年継続してかかる広報活動を続けることにより、より多くの地域の方々の参加を得られるものと確信している。</p>
---------	--

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	市民の立場でごみ問題を考える（エコイベントの企画から実施まで）		
団体名	サンエス企画		
事業費	101,713 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的 平成16年度秋から家庭ごみ収集の有料化が実施された。自分たちが作り出してしまいうごみに関して考えていくのに最適なタイミングであると考え、そのためのエコイベントを企画し実施する。この活動自体を事業として展開していけるように体力を付けるための2年目としたい。</p>
	<p>内容 普段なにげなく使っている発泡スチロールトレイや割り箸などの使い捨て容器は、一回使っただけですべてがごみとなり、処理されている。その事実が、本当にどうにもならないことなのかどうかを市民の立場で考えていく。そのためのきっかけを提供するために各種イベントに参加していく。</p>

事業の実績	<p>平成17年度は、サンエス企画としての自主企画としてのイベントを実施することよりも、八王子市内で実施されている各種イベントに参加することでサンエス企画、そしてこの活動が拡がることをイメージして動いた。昨年度の実績から、リサイクル容器を使用したいとのご連絡をいただくことができた。特に学園都市：八王子ならではの、八王子学生委員会のみなさまには年間を通じて様々な活動にリサイクル容器を採用・ご協力いただいた。</p>
-------	--



事業の成果・効果	<p>平成17年度は、昨年に引き続き「P &amp; P ミンミ・リパック」というリサイクル可能な容器を採用しイベントに積極的に参加した。リサイクルステーションを担当することによって、イベント当日、ごみ分別コーナーの設置と分別指導を行いごみ減量についての協力を促した。学生天国、八王子いちょう祭りへの参加は多くの方に体験してもらえた。イベントのごみ処理費用の削減にも貢献できたと判断している。</p> <p>夏には、環境省が中心となり「クールビズ」が提唱され、私たちが省エネ啓発うちわを作成し「省エネしましよ」活動を行った。平成15・16年は「ごみを減らそう」うちわを少量手作りして配布していたが、今年度は200本のうちわを作成した。「省エネしましよ」啓発うちわには、サンエス企画の団体名とサンエスキャラクター（今年度作成）を印刷し広報活動とした。パンフレット作成はできなかったが、それ以上の効果はあったと考えている。講師派遣による講座（勉強会）の実施よりも、各種イベントへの参加による現場での活動を選択した。消費者センター主催の「くらしの見直し展」にも公募団体として参加できた。市役所文化祭にも参加した。サンエス企画の活動を見ていただくことができたとともに、ごみ問題に対する市民の立場でできることを主軸に省エネ活動も展開する基盤が作れたと思っている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた      2 概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>広報活動のためのパンフレット作成費を「省エネ啓発うちわ（広報機能付き）」に変更した。</p>
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>この活動を通して多くの団体とごみ減量について繋がりを築けた。昨年度の実績からお声掛けいただいたことも大きな成果であると考えている。この繋がりを大切に、今後はこの活動を事業として継続していきたい。</p> <p>活動を支援していただいたこの2年間の実績を無駄にしないように今後の事業を展開していく。</p>
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「証言」集の発行で被爆体験を後世に		
団体名	八王子市原爆被爆者の会（八六九会）		
事業費	2,515,028円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 被爆60年節目の年に被爆者はあと何年生きる事ができるでしょうか。被爆の実相をいつまで語ることができるでしょうか。残された年月は少しです。本としてまとめ後世に残しておきたい。
	内容 口では文章ではとても表すことはできない被爆の体験、決して二度とくり返してはいけない思いを込めて、思い出したくない悲しい出来事を文章としてまとめました。47名（広島23名、長崎24名）約300ページ

事業の実績	<p>1800冊出版し、2月末でくまざわ書店に49冊残っているのみ。（現在は店頭に出ていません。お店の好意で長期間扱って頂く事になっています。）</p> <p>会員が口コミで全てさばきました。</p> <p>献本：小中学校、図書館、広島・長崎の平和資料館など</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>増刷要望もありますが、様子を見ている所です。</p> <p>多くの方から評価を頂き出版して本当によかったと思っています。市内の全ての公立小中学校に献本出来た事も良かったと思います。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>1800冊印刷し市内の書店に若干残っていますが、会員からの協力で全て無くなってしまいました。多くの方から評価頂き会員一同大変嬉しく思います。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>被爆50年、60年と2回「証言」集を発行しましたが、70周年の時は不可能ではないかと予測しています。</p>
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	環境教育推進活動		
団体名	八王子環境教育研究会		
事業費	262,050円	補助金額	120,000円

事業の目的・内容	目的 環境教育推進活動
	内容 八王子市周辺の大気汚染、水質汚染、土壌汚染、エネルギー問題、化学物質の汚染等を調査研究し教材化とし、市民生活に役立てる。

事業の実績	<p>年間を通じて主なイベント回数(11回)それに要した参加人数延べ人員(344人)その間、大きなイベントとして7/18「氷河期の植物」観察会。                  9/11「氷河期の生きものたち」学習会於ネイチャーセンター。                  8/20工学院大学での夏休み理科教室工作指導。                  8/19風土の森実行委員会企画事業支援(里山探検隊)講師・スタッフ派遣。</p>
-------	---



「氷河期の動物と秋の虫」観察会  
05年9月長池公園



「冬芽の観察とどんぐり拾い」観察  
05年11月犬目丘陵

事業の成果・効果	<p>ひとりひとりが“持続可能な社会”を目指した学習を積み重ねながら、先ず、地域で実践、地域の活性化に努めるため、環境市民会議に積極的に参加し提言、助言、提案をしながら、継続的に展開。</p> <p>三年目に入り、共立理化（株）との共同研究始め、環境問題で活動している他団体との提携に発展しつつあることが、大きな収穫です。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>文部科学省・文化庁支援による企画の風土の森実行委員会主催の「里山探検隊」で子どもたちへのアプローチ「土壌動物調査」を行った。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>継続は力なりの立場から独自性を確立しながら、経済的にも自立を目指し未来に生きる小・中学生に役立つ出前授業の実践へと発展できるよう努めたいと念じております。</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	バリアフリー調査		
団体名	ばりあ・ふりいの会		
事業費	133,860 円	補助金額	65,000 円

事業の目的・内容	目的	すべての人が快適に生活できるバリアのないまちを作ること。
	内容	公共施設のバリアフリー調査・報告・啓発活動など。

事業の実績	1	公共施設のバリアフリー調査、結果報告、申入れ。 (八王子市立七国小学校、第七小学校、第三小学校、第十小学校、いちようホール、夢美術館、市役所庁舎、クリエイトホール)
	2	八王子駅周辺再調査
	3	生涯学習フェスティバル(10/22)参加
	4	バリア体験とバリアフリー調査報告会開催(4/1)
	5	会員研修会(国際福祉器機展)



↑ 街頭に出て体験



↑ 疑似体験グッズを装着



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設のバリアフリー調査について、担当者の方に報告し、バリアの解消をお願いした。</li> <li>・ バリアフリー調査の報告書を作成した。</li> <li>・ バリア体験と調査報告会を開催し、啓発活動を行った。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた      2 概ねできた      あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ) 構造者の場合は容易に改善できない場合がある。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	ほとんど同じ      2 多少の変更があった      3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	障害者にとって危険があるという報告をした場合に担当者の方が真摯に受け止めて下さっている。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	引き続き、バリアフリー調査を実施する予定です。 (ターミナルでの乗り継ぎ、チェーン店等)
---------	---

## 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	長池こどもの居場所作りの会		
団体名	長池こどもの居場所作りの会		
事業費	321,521円	補助金額	160,000円

事業の目的・内容	目的	当地区は子供が多いにもかかわらず、近隣に児童館のような放課後に子供たちが自由に利用できる公的な施設がない。そこで平成17年3月オープンのエヌ・シティー東自治会館の自治会館を利用し、放課後誰でも自由に利用できる居場所の提供や、子供たちが地域イベントなどを自ら企画、実施できるような機会のサポートをする。
	内容	毎週水曜日・金曜日の2回、放課後の2:00～6:00まで、エヌ・シティー東自治会館を借り、子供たちを自由に遊ばせた。また、その際は安全確保のため大人が2名ずつ常駐した。近隣のお祭り参加。冬のウインターフェスタ開催。自治会の餅つき行事への協賛。ぼたもち作り開催。

事業の実績	<p>平成17年5月11日～平成18年3月末まで平常の「居場所」延べ約80回実施。</p> <p>平成17年8月長池地区・地域のお祭り「ぼんぼこまつり」に模擬店を出店。</p> <p>平成17年12月平常の居場所の日にクリスマス・飾りつけなど</p> <p>平成17年12月10日「居場所ウインターフェスタ」開催。</p> <p>平成18年1月14日「自治会・餅つき大会」への協賛。</p> <p>平成18年3月15日平常の居場所の日に「ぼたもち作り」実施。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>「事業の実績」に対比して。</p> <p>5月11日～3月末までで約80回。1回の実施日に対しこどもの参加は水曜日が平均約35人。金曜日が約25人。一年を通すと、平均約30人。</p> <p>校庭などのように広い場所で遊ぶのと違い、限られた空間で様々なグループや子供たちが肩寄せあって遊ばなくてはならず、必然的にお互いに関わらざるを得ない状況が様々な状況を作り出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶ場所の事や、卓球台を巡って争っていると、実は遊ぶ時間が減る事。大人は子供が助けを求めない限りできるだけ傍観した。</li> <li>・異年齢間で遊ぶようになった。同級生の時とは違い力加減をしたり、いたわりが見られた。</li> <li>・大人の手助けをする子供がでてきた。</li> </ul> <p>昨年8月末の「ぼんぼこ祭り」は、参加費をエヌ・シティー東自治会が出費し協力していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことで子供たち全体にCMできなかったが、高学年の子達6,7人が手伝った。</li> <li>・約9万弱の純益があった。</li> </ul> <p>自治会館内にクリスマス・ツリーを飾った。女子を中心に窓ガラスに噴きつけの飾りをした。自治会館全体がアット・ホームな雰囲気になられ、皆さんに感謝された。</p> <p>子ども達はボランティアによる数種類の手作りゲームで遊んだり、近隣の方には手作りバザーの作品を購入してもらった。こどもの参加は約70名。参加費は100円。ゲーム収入代金+バザー=約5万円。日ごろは無料なので、当日は参加費と言う形で資金作りに協力してもらった。</p> <p>自治会・「おやじの会」と共に「餅つき大会」を協賛した。特に、「カルタ遊び」「ゲーム」を担当した。当日は、集まった人たちがまるで大家族のようでほのぼのとした雰囲気だった。</p> <p>の余りで放課後の平常時間に「ばたもち作り」をした。約50人参加。ちょうどおやつタイムなので、みんな熱心に楽しく作り、食べた。以外だったのは「家に作って持って帰っていい？」と言う言葉。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた      2 概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 自治会の子ども会ではないので会館利用料の補助は受けられなかった。が、掃除ボランティアなどで後方支援をしてくれた。保険に加入する事になった。反面学生ボランティアが集まらず、交通費がかからなかった。
	その他、評価すべき点等	こどもばかりでなく、大人の交流も増えた。多くの方の物品や時間での協力が得られた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>毎週水曜日・金曜日、2:00～6:00の放課後の「居場所」を基本に、イレギュラーの行事をこども達と相談しながら実施していきたい。</p> <p>昨年に引き続き、地域の大人をより巻き込む工夫をしていきたい。</p> <p>「ぼんぼこまつり」参加。「ウインターフェスタ」の開催。「鯉のぼり流し」の実施。</p>
---------	--

平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子で体感 生きた言葉と楽しいコミュニケーション		
団体名	特定非営利活動法人八王子子ども劇場		
事業費	1,569,360 円	補助金額	784,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>コミュニケーション力の低下が問題化している現代社会に向けて、親子のふれあい体験や文化体験、感動体験などの要素を盛り込みつつ、日本語の響きの美しさや表現方法の大切さを見直し、コミュニケーション力を磨く4企画を実施。いずれも理論を学ぶものではなく、大人も子どもも楽しみながら伝え合う大切さを実感し、表現方法を豊かに蓄積していくことを目的とした。</p>
	<p>内容</p> <p>『今日からできるコミュニケーション実践術』は、八王子市に在住の日本交流分析学会認定交流分析士を講師に、実践術を中心にして自己啓発コミュニケーション講座を3回シリーズと、追加講座を1回行った。</p> <p>『親子でわらべ歌を楽しもう』は、わらべうた保育研究会主催であそびうたなどの著作でも有名な専門家による講座。小物を多用してのあそびうたやわらべうたは、乳幼児の発達に合わせた興味深い内容で、参加の親も講師とともに懐かしいわらべ歌を次々に歌った。交流会では講師より身近な子育てにあそび歌やわらべうたを生かす方法や、子どもとあそびの関係についてのアドバイスもあった。</p> <p>『リーダーズ・シアター お話がいっぱい』（鑑賞会）は、よく知られた絵本の中の言葉が、生きた言葉として伝わる楽しさを味わった。</p> <p>『リーダーズ・シアターに挑戦!』（ワークショップ）は、公募で募集した参加者が、絵本や昔話などをテキストに使い、身体表現を交えた立体的な朗読劇に挑戦した。本の中の言葉を借りて、表現方法を考え、実際に声に出し、工夫しながら、お互いに言葉の意味を伝えあうコミュニケーション力を磨いた。</p>

事業の実績	<p>『今日からできるコミュニケーション実践術』</p> <p>&lt;第1回&gt; 5/13 (金) 10:00~12:00 クリエイトホール第5学習室 参加者/15名</p> <p>&lt;第2回&gt; 5/20 (金) 10:00~12:00 クリエイトホール第5学習室 参加者/22名</p> <p>&lt;第3回&gt; 5/27 (金) 10:00~12:00 クリエイトホール第5学習室 参加者/23名</p> <p>&lt;第4回&gt; (追加講座) 6/23 (木) 10:00~12:00 クリエイトホール第5学習室 参加者/9名</p> <p>若い母親の参加を期待して、各回とも別室にて託児を用意。</p> <p>3回で終了予定だったが、コミュニケーションの具体法を消化しきれず、後日追加講座を行なった。</p> <p>『親子でわらべ歌を楽しもう』 11/18 (金) 子安市民センター和室 1,2</p> <p>10:00~10:45 対象: 0~1歳児 参加者/親子17組 大人10名</p> <p>11:00~11:45 対象: 2~3歳児 参加者/親子16組 大人14名</p> <p>12:00~15:00 交流会 親子10組 大人10名</p> <p>乳幼児の発達段階に合わせたプログラムを組むため、0~1歳児向けと2~3歳児向けの2回講座とした。</p> <p>2~3歳児の参加者には、講師への質疑応答を兼ねた交流の時間を設け、参加者同士の出会いの場とした。</p> <p>『リーダーズ・シアター お話がいっぱい』（鑑賞会） 3/31 (金) いちょうホール (小ホール)</p> <p>17:45~17:55 『リーダーズシアターに挑戦!』（ワークショップ）参加者による成果発表</p> <p>18:00~19:00 楽劇団いちょう座による朗読劇公演 キャスト6名 スタッフ4名 参加者100名</p> <p>『リーダーズ・シアターに挑戦!』（ワークショップ）</p> <p>&lt;第1回&gt; 1/22 (日) 10:00~12:00 八王子市民会館第1,2会議室 参加者/子ども23名 大人7名 計30名</p> <p>&lt;第2回&gt; 1/28 (土) 10:00~12:00 八王子市民会館第1,2会議室 参加者/子ども20名 大人10名 計30名</p> <p>&lt;第3回&gt; 2/ 5 (日) 10:00~12:00 八王子市民会館第1,2会議室 参加者/子ども24名 大人4名 計28名</p> <p>&lt;第4回&gt; 2/19 (日) 10:00~12:00 八王子市民会館第1,2会議室 参加者/子ども24名 大人6名 計30名</p> <p>&lt;発表会&gt; 2/19 (日) 13:30~14:30 八王子市民会館第1,2会議室 入場者/82名</p> <p>&lt;第5回&gt; (追加練習) 3/19 (日) 10:00~12:00 八王子市民会館第9会議室 参加者/子ども12名 大人2名</p> <p>3/31の成果発表に向けての練習会</p>



事業の成果・効果	<p>『今日からできるコミュニケーション実践術』では、若い母親に参加しやすく工夫したが、参加者は子育て真っ最中の幼児の母親から子育てが終わった世代、さらに男性まで幅広く集まった。コミュニケーションの実践方法と個別のケースの対処法などを交えてのわかりやすい講座は、回を重ねるごとに具体的な実践報告が相次いだ。参加者の希望で行われた追加講座だが、3回目までと曜日が変わり、日程の調整がつかない参加者が多かった。</p> <p>『親子でわらべ歌を楽しもう』は、参加対象年齢によって内容を組み立てたことにより、それぞれの親子にとってゆったりと充実した時間になった。また、読み聞かせなどを実践している大人の参加者も多く、専門家による実践講座としても勉強の場を提供できた。</p> <p>『リーダーズ・シアター お話がいっぱい』（鑑賞会）は言葉のおもしろさを幼児から大人までが体感できる優れた舞台公演だった。公演に先駆けて行ったワークショップ『リーダーズ・シアターに挑戦！』で体験した朗読劇を、プロの役者の演技でより深く楽しんだ。オムニバスで演じられる作品群には、ワークショップで使ったテキスト作品も登場し、ワーク参加者には一味違った発見や感動があったようだ。また、公演開始15分前にワーク参加者による成果発表も行い、多くの市民の皆さんに成果を披露した。</p> <p>『リーダーズ・シアターに挑戦!』（ワークショップ）では、小学校1年生から大人までの参加者が対等に協力し合って毎回ひとつの作品を作り上げ、世代を超えたコミュニケーションのおもしろさを実感した。自己表現が苦手な子どももいたようだが、相手に『伝える』だけでなく『聞く』という言葉のキャッチボールを体感できたと言う声もあった。同一のテキストを使っているにもかかわらず、グループによって全く違う作品に仕上がったことには3入場者の多くが感心していた。後日複数の子も参加者から“言葉のキャッチボールができるようになった”との報告があり、大きな成果があったと実感した。</p> <p>以上のように今回の4事業では、対象によってそのつど切り口を変えて企画した。いずれの企画においてもその分野の専門家を講師に招き、理論だけでなく、実際に身体や心で感じ、表現するという具体的で楽しい体験ができた。その際、アイキャッチやしぐさを考えたり、話し方や視点を変えてみたり、幼い子どもにはわらべうたを通しての触れ合いなど、様々な手法を使って、意思を伝え合い、気持ちを感じあった。コミュニケーションのいろいろな形、可能性を知るとともに、分かり合い、伝え合う楽しさ、満足感を今回の事業を通してたくさんの市民の皆さんに提言できたように思う。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 参加費収入を見込んでいた『リーダーズ・シアター お話がいっぱい』公演では『朗読劇』という地味なイメージを払拭しきれなかったようで、広報紙・新聞等への掲載依頼のほか、市内小学校や幼稚園、公共施設などへのチラシ配付、DM発送等、でき得限りの広報活動をしたにもかかわらず、参加者は予算を下回り、その分自己資金投入額が膨らんだ。チラシ印刷はネットによる格安印刷を利用したため、大量に印刷したわりに支出を抑えることができた他、支出の各科目で少しずつ予算を抑えることができた。
	その他、評価すべき点等	リーダーズ・シアターのワークショップは体験するだけでなく、成果発表も行い、受講者のみならず、たくさんの市民の皆さんにもその楽しさを体感していただけた。演劇(朗読劇)という手法がコミュニケーションの面白さを体感することに有効であるということ再認識することもできたように思う。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後も今までの経験を生かし、実際に子どもを持つ親として、子どもたちの自主性や可能性を伸ばしていく活動を展開していきたいと考えます。また、子どもたちがのびのびと育っていくためには親自身の心のゆとりや成長も必要です。親子で共に豊かに育ち合っていけるような事業を心がけたいと考えます。</p> <p>一方で最近では仕事に追われる親も多く、スタッフの確保にはいつも苦労しています。そこで他の市民団体の方々と連携していくことも今後は検討したいと思います。また行政側とも何らかの形で連携できればまた違った局面も見えてくるように思います。</p>
---------	---

## 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	学校図書館支援講座		
団体名	八王子に学校図書館を育てる会		
事業費	240,284 円	補助金額	120,000 円

事業の目的・内容	<p>目的：          児童・生徒の教育環境、読書環境整備のため、学校の図書室には専任の職員が配置されるべきであるが、現状の中では校長先生を中心に、司書教諭・図書担当教諭とボランティアが連携をしながらそれぞれの役割を果たすことが必要である。そのために必要な研修、および、学校図書館への市民の理解・関心を深めるための活動を行う。</p> <p>内容：          実際に小中学校の図書室や教室でボランティアとして関わっている人たちを中心に、しかし対象をボランティアに限定しない実務講座（4回連続）を企画、一方、広く市民に対しても学校図書館の充実や専任職員の配置の必要性を訴える講演会を行う。</p>
----------	---

事業の実績	<p>5月21日（土） 学校図書館の仕事：遊佐幸枝さん（純心女子中学校司書）          8月27日（土） 読み聞かせの楽しみ：志々目彰さん（八王子子どもの本を読む会会員）          ブックトーク：宮本茂さん（市立小学校教諭）          10月9日（日） 基調報告：高橋由紀子さん（学校図書館を考える全国連絡会会長）          事例報告：市内学校図書館読書指導員（大和田小学校・中山中学校）          11月2日（水） 市内学校図書館見学会：恩方中学校・元八王子東小学校          1月31日（金）市外学校図書館見学会：三鷹市立高山小学校・第六中学校</p> <p>他に、出張修理講座（4小学校）他地区との交流会、『学校図書館に人を』要望書提出 などのべ 200人ほどの参加者があった。</p>
-------	--



事業の成果・効果	<p>市の学校図書館読書指導員としてボランティアをしている方たちを中心に、学校図書館に関心のある人や子どもの本に興味のある人たちの参加があった。また小・中学校校長会へのPRや図書館との連携により、チラシの配布など効率的に行なえたと思う。とくに出張講座はこちらが出向くこともあり打ち解けた意見交流が持て、理解者が増えている。いずれの企画も、アンケートによれば好評であった。</p> <p>一方、一般市民の関心はなかなか深まらないという課題もうまれている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>思いのほか資料費(印刷・用紙・インクなど事務用消耗品)がかかった。交通費も増えてしまったが、必要経費として欠くことができなかった。参加申込者のドタキャンに苦慮している。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>3年目になり、修理講座は自前スタッフで行なえるところまで会員の研修が進んだ。徐々に会の知名度が上がっているように感じる。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>助成金を頼らずに運営していくことを目指して更に会員を増やしたいと考えている。現在の会報は会員内部むけとなっているが、今後は広く広報活動を行なっていきたい。定番の講座以外に、市民へアピールできる講演会の企画にも取り組みたい。読書推進にとどまらず、子どもたちの教育環境向上に貢献できる事業展開をめざす。</p>
---------	--

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン「ココロ」 児童虐待防止事業		
団体名	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン		
事業費	431,571円	補助金額	215,000円

事業の目的・内容	<p>目的：子どもからの電話を聞く活動を通して、子どもからの悩み、疑問、要求などが寄せられた。子どものことを大人がもっと理解し、すこやかな子供の育成を目指し、また子どもへの虐待をなくすために企画した。また、この活動を広く地域の活動とするためにも市民とともに活動のあり方を考える機会と考え企画した。2回の講座を通して子どもに対する虐待の現状を知り虐待のない世の中に一歩でも近づくようにしたい</p>
	<p>内容：児童への虐待を防止するため、次の講座を開き市民の啓蒙を促す。                  1、子どもを知る講座 子ども心、体、活動を理解し子供とのかかわりを考える。                  2、児童虐待防止講座 子どもにとって何が虐待か、具体的な事例や避けることのできない子どもの心があることを知り、どのような対応があり、活動があるか考える。</p>

事業の実績	<p>2005年11月19日(土) 1回目講座 子どもの人権 開催                  講師 木村真実弁護士 場所 北野市民センター大会議室                  参加者 30名</p>
	<p>2006年2月18日(土) 2回目講座 子どもが子どもらしく生きられるために 開催                  講師 坪井節子弁護士 場所 労政会館大ホール                  参加者 30名</p>



11/19(土)木村弁護士による講演会 講師とスタッフと講演会テーマ



2/18(土)坪井弁護士による講演会 講師と講演テーマ



事業の成果・効果	<p>新聞や市民便りに載せ、講座のお知らせのプリントを小・中学校の PTA 連絡会を通して知らせ事前宣伝をした。</p> <p>参加者からは有意義な話が聴けたとの感想をたくさんいただいた。</p> <p>11/19 木村さんの講演会 感想 ・親権と子どもの権利の狭間での矛盾を感じた。・親権が強く、子どもの成長発達権が保障されにくい。・親権の話に納得、100%暴力否定の言葉に確信を感じ安心。・最近の未青年事件でも深く考えさせられていましたので大変勉強になった。・オギャーと生まれたときから、大切に育てなければいけないなと思いました。・何もしないことが子どもにとって虐待と感じる。・大人の視点と子どもの視点の接点を探ることも大事。</p> <p>2/18 坪井さんの講演会 感想 ・大人と子どものパートナーシップ、実生活の仲で少しずつ反映させたい。・自分の子育てを振り返って、もっと早くこの話を聴けたらと思いました。・「そのままでもいい、生きていてほしい」本当にそのとおりです。・ All Right 一人ぼっちじゃない 自分の人生の主人公 と言う3つのポイント普段でも大事と思いました。・「子どもと大人が対等である。」という言葉が印象的でした。・子育て中なのでとても参考になった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>案内物やレジユメの印刷を自分たちで行ったため印刷費がかからなかった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>市民企画事業と言うことで多くの人に知らせることができた。</p> <p>補助金がいただけたので、経済的に余裕のある企画ができた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>子どもの命を守る講座として、性の問題、子どもの人権の問題、子どもの生き方・対応等を知らせ話し合うことを続ける。</p>
---------	--

# 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	東京スポーツビジョン 21 スポーツクラブ活動事業		
団体名	特定非営利活動法人 東京スポーツビジョン 21		
事業費	365,500円	補助金額	182,000円

事業の目的・内容	目的	<p>八王子市では、平成 16 年 3 月に八王子市スポーツ振興基本計画策定委員会より八王子市スポーツ振興基本計画の答申がありました。その中で、市民の豊かなスポーツ生活の創造と地域社会の活性化を実現させる為に総合型地域スポーツクラブ設立の重要性がうたわれています。</p> <p>当法人は、平成 13 年 11 月の設立以来、生涯スポーツの普及・競技人口の底辺拡大・コミュニティスポーツの振興・トップチームの運営を目標に活動してきました。今回の活動事業では、各種スポーツ交流に参加することで参加者にスポーツの楽しさ、難しさを体験してもらう。それにより、青少年の健全育成・生涯スポーツの推進はもとより、地域コミュニティの確立が図られ、地域プライドの高揚を期待する。また各種スポーツ団体・行政との交流により総合型スポーツクラブの目的と必要性を認識していただき、更なる会員数の増大と図り、組織を強化する事により、将来的な自立運営の第一歩とする。</p>
	内容	<p>一輪車教室：一輪車は、平成 4 年度より文部省小学校指導書・体育偏第 3・4 学年の「基本の運動」領域の「用具を操作する運動」に例示され「新標準教材品目」にも示されています。一輪車の教育的効果として 1) やる気、意欲を生み出す 2) 視る目と心を育てる 3) 道徳的真情を躍動させる 4) 体力・運動技能を育てると好評です。今回は、小学生を対象とした体験講習会を開催します。</p> <p>タグラグビー体験：タグラグビーとは、タックルの代わりに腰につけたヒラヒラのリボン（タグ）を取ったり取られたりしながらトライを目指す、コンタクトのないラグビーです。数年後には小学校の指導要綱に取り上げられる動きもあるほど教育現場でニュースポーツとして最近特に注目されています。今回は、小学生を対象として、一日体験講習会を開催します。</p> <p>Hachioji FC 杯 2005：市内競技場を利用して、八王子の将来を担う小学 3 年生以下のサッカー少年を対象に、プロ化を目指す八王子 FC（東京都社会人リーグ 2 部）の選手達と 8 人制サッカーのカップ戦などで楽しむ。</p>

事業の実績	5月～11月	実行委員会の開催
	9月	協力団体との打ち合わせ開始 (八王子ラグビースクール・日本ラグビー協会・日野社会教育センター一輪車クラブ)
	11月	参加募集開始(八王子市広報 11月15日号募集案内・市民センター募集パンフレット掲示 TSV21・八王子サッカー協会・日本ラグビー協会HP)
	11月26日	事業実施 開催場所：八王子市富士森陸上競技場 開催時間：9:00～15:30 参加者総数：80名



事業の成果・効果	<p>一輪車教室では日野教育センター一輪車クラブ、タグラグビー体験では日本ラグビー協会・八王子ラグビースクールの協力を果て開催することができた。</p> <p>協力団体からは今後も継続しての開催要望もあり、良好なネットワークを構築できたと思う。</p> <p>事業当日は天候もよく、参加した子供達は、普段なかなか触れることのできない芝生の上で楽しそうな笑顔を見せながらスポーツを楽しんでいたのが印象的である。</p> <p>引率して来た保護者や指導者にも、当法人の活動目的を伝えることができ、今後、会員数を増やし自立運営のきっかけになると思われる。</p> <p>参加した子供達より聞き取り調査した結果では、芝生の上で運動する事が楽しいという結果が多かった。</p> <p>今回は、実施種目の関係で会場の変更をしたが、結果的にすべての種目を安全に行うことができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>会場変更により、会場費の費用が発生してしまった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>他団体との交流が持て、今後の事業展開においても協力を頂ける事となり、このような事業を展開する事により、総合型地域スポーツクラブとしての幅が広がる事が確認できた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後も、手を使うスポーツ・足を使うスポーツ・道具を使うスポーツを種目として事業を展開し、一つのクラブに入会する事で多種目に参加できる総合型地域スポーツクラブのメリットを伝えていきたいと思う。</p>
---------	--

## 平成 17 度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生活習慣病が気になる方の食教室		
団体名	八王子管理栄養士の会 ダイエタリー・フレンズ		
事業費	248,021 円	補助金額	123,000 円

事業の目的・内容	<p>目的 生活習慣病の患者及びその予備軍は増加の一途をたどっている。その改善、予防のためには食生活の見直しが重要であるが、多くの方達は管理栄養士による栄養指導などを受ける機会を得られないのが現状である。私達は管理栄養士の資格を活かし、これらの事業を進めることにより市民の健康づくりに寄与したいと考えている。</p>
	<p>内容 近年増加している糖尿病、高脂血症等の生活習慣病患者及びその予備軍の市民を対象に、管理栄養士の立場から病態について説明し、調理実習や試食を通して「何をどれくらいどのようにして食べたらよいのか」を知ってもらい、「美味しく楽しく食べる」ためのアドバイスを行う。また希望者には栄養相談を行い個人に即した指導をしてゆく。</p>

事業の実績	月日	テーマ	内容	参加者数	月日	テーマ	内容	参加者数
	6/14	カロリーダウンで肥満予防	資料を使った講話	5	11/8	上手に減塩するには	資料を使った講話	4
	6/21	カロリーダウンで肥満予防	料理講習	9	11/15	上手に減塩するには	料理講習	8
	7/12	食物繊維の働き	資料を使った講話	5	12/13	お正月料理	料理講習	6
	7/19	食物繊維の働き	料理講習	12	2/12	講演会「健康で長生きするには」	医師・栄養士の講演	53
	9/13	糖尿病の食品交換表について	資料を使った講話	6	2/14	抗酸化食品を上手にとる	料理講習	10
	9/20	糖尿病の食品交換表について	料理講習	6	3/14	春の食材を使って	料理講習	10
	10/18	男性向け料理	男性にも簡単にできる電子レンジを使った料理	15				



事業の成果・効果	<p>今年度は統一テーマとして「生活習慣病予防のヘルシークッキング」として講話と料理の2回シリーズで事業を行ったが、結果的には参加者が予定より少なかった。</p> <p>しかし参加者にはリピーターも多く、講話を聞き調理、試食をすることにより、「病気に対する理解を深め具体的にどのような食生活をしたらよいか分かった」「日常生活でもバランスのとれた食生活をするようになった」「検査数値の改善がみられた」等の声が寄せられ、嬉しい結果もみられた。また、この教室の継続の要望も多く出されている。</p> <p>2月12日には、「健康で長生きするためには」というテーマで医師、管理栄養士による講演会を開催した。</p> <p>メタボリックシンドロームを予防するにはどうしたらよいか、特に食生活の大切さ、またどのような食生活をしたらよいかを、多くの市民を対象に専門の立場から伝えることができ、開催の意義を感じた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>予定したより参加者が集まらなかったため、事業収入が少なかった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今年度は男性向け料理講習会を行ったところ、継続して参加する熱心な男性もみられた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>平成18年度は補助金申請を行わなかったが、生活習慣病予防は医療費削減のためにも国の重要な課題であり、管理栄養士の役割はますます大きいと思われる。</p> <p>今後も会としてこのテーマに即した活動を続け、市民の健康に寄与したいと考えている。</p>
---------	---

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	『わくわく子ども発明塾』		
団体名	特定非営利活動法人 発明協会		
事業費	430,598 円	補助金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	<p>・社会的に不安な要素や閉塞感が度々指摘されている我が国においては、“新しいものを生み出す”という考え方や、活気ある市民活動によるプラス思考がもたらす影響力が社会の活性化、健全化という面においてとても有効だと考える。本企画は、将来の我が国を担う子どもたちが、生き生きと活気ある、心豊かな人生を送るための一助となることを目的とするものである。</p>
	内容	<p>・子どもたち一人ひとりの自由な発想を計画的、段階的に練り上げ、“新しいものを創る”という楽しさや喜びを実感してもらおうとともに、多くの仲間たちと出会う機会や環境を提供する。</p> <p>・活動の中から生まれた成果物(創作品)を対外的に展示発表することで活動の意義や達成感を感じてもらおう。</p>

事業の実績	《小中学生15名がスケジュール、テーマにしたがって創作活動を実践》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年7月30日(土)～【開講ガイダンス】</li> <li>・8月1日(月)～【発想力を鍛えよう!どんなものを創りたい?】</li> <li>・8月5日(金)～【参考になるアイデアの紹介!どんなものがあるんだろう?】</li> <li>・8月9日(火)～【オンリー・ワンの発明に挑戦 個性を生かして創作開始!】</li> <li>・8月12日(金)～【自分のペースで完成を目指そう!人の意見も参考に・・・】</li> <li>・8月16日(火)～【ほかの目的にも応用できないかな?】</li> <li>・8月19日(金)～【個々の作品について意見交換をしよう!】</li> <li>・8月26日(金)～【創作品の完成を目指します。ネーミングも考えてみよう!】</li> <li>・9月3日(土) 23日(金)～【発表展示会へ向けての準備】</li> <li>・10月15日(土) 22日(土)～【発表展示会へ向けての準備】</li> <li>・12月24日(土)～【認定証書授与式】</li> </ul>
	《成果物(創作品)発表展示企画》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月5日(土) 6日(日)～【八王子市役所文化祭参加】</li> <li>・11月19日(土) 20日(日)～【第26回いちょう祭り参加】</li> <li>・平成18年3月27日(月) 4月7日(金)～【八王子市役所本庁舎ロビーにて作品展開催 ・・・などの活動を行った。</li> </ul>



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち一人ひとりが、自らの自由な発想を練り上げ、工夫をし、改良を重ねながら目指す作品を完成させることができた。その結果“新しいものを創る”ということの楽しさや大切さを実感することができた。</li> <li>多くの人たちと関わり合いながら活動することで、協調性や思いやりの心を学んだと同時に、自主性（自ら考え積極的に行動する）も養われたように思う。</li> <li>成果を対外的に発表することで満足感、達成感を味わうことができた。</li> <li>子どもたちも回を重ねるごとにより好奇心を深め、自分の考えや工夫が形になり作品が改良されていく喜びを嬉しそうに話す場面が多く見られた。</li> <li>企画を通じて多くの人と出会い、親しく話しをすることで“新しいものを創る”ことへの関心の高さ、話題性などを再認識する事ができた。</li> <li>試作のための技術的アドバイスを尋ねたことがきっかけで、地元事業所の経営者とも交流が生まれた。創作品を製作するというニーズを共有することでさらに良い関係が築けるように思う。</li> </ul> <p>参加している子どもたちを応援してくれた家族や、展示会などの機会に気軽に声を掛けてくれた人たちも多く、活動に興味をもっている人たちの輪が着実に広がっているとの実感をもった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業に対する市民の反応、反響も上場であり、様々な発展性、可能性など、今後の発展に大いに期待がもてる。</li> </ul>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の活動を通じて得た貴重な情報、人的ネットワークなどを今後の事業へ反映させていただきたい。</li> <li>当法人の活動の主たる目的のひとつが“新しいもの創り”である。したがって、“もの創り”による産業の活性化を図る意味から、地元事業所などとの親交も深めていきたいと考える。</li> <li>運営面に関してはあくまで自立を目指し、収益事業の展開や協力者、協力団体などとの関係強化など財政的、人材的基盤の充実も図っていきたい。</li> <li>行政との連携についても、社会的影響力及び効果が大きいと思われ、自ら活動意義を高めるためにも必要性、可能性があれば今後も積極的に協力関係を築いていきたいと考える。</li> </ul>
---------	---

## 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする		
団体名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ		
事業費	1,970,000 円	補助金額	965,000 円

事業の目的・内容	目的	要介護者の増大や重度化と予防、地域での活動に主体的に参加し、生きる意欲を支え合い、自分の居場所、役割を見いだせる人と人との関係の再生をめざす。
	内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護予防現任研修</li> <li>2. サポーター養成講座</li> <li>3. おたっしゃ 21 検診</li> <li>4. 介護予防、自主活動の支援</li> </ol>

事業の実績	介護予防現任研修 サポーター養成講座 おたっしゃ 21 検診 介護予防、自主活動の支援
-------	--





事業の成果・効果	<p>現任の研修の応募が少なくヘルパーさんの仕事への意識の低さを感じた。  サポーター講座は一定の成果はあったと感じる。  自分の健康づくりの為、体操教室を定期的に活動し、また、絵手紙教室生きがい講座も始まっている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた      2 概ねできた      あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ) 現任研修は効果をあげる事ができなかった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 予想したより応募者が少なく、当団体の補填が大きかった。
	その他、評価すべき点等	宣伝広告が足りず、思いを充分伝える事が出来なかった。 市民企画事業は無料との認識がよい。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>事業費を削減したが、継続して事業を展開していく予定。</p>
---------	-----------------------------------

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ふるさとの食を拓く		
団体名	NPOふるさとの食を拓く会		
事業費	882,131円	補助金額	200,000円

事業の目的・内容	目的 「ふるさと食」の研究と伝承。 食文化に関する生涯学習。 健康で安全な食生活の普及。 地産地消活動の推進
	内容 「ふるさと食」調理体験教室の開催 「ふるさと食」の調査、研究 「ふるさと食」に関するフォーラム、ワークショップの開催 「ふるさと食」の普及 農業体験を通じ食の尊さを知り、収穫物の販売にもつなげる。

事業の実績	17年	4月	・企画会議
		5月	・調理体験教室 「津久井・藤野の伝承料理」
		〃	・農耕体験 伝統の大豆とトウモロコシの栽培
		〃	・調査・研究 「ふるさと食」探訪・・・茨城県高萩市を訪ねて
		6月	・農耕体験 畝おこし
		7月	・調理体験教室 「親子で作る むかし風おやつ」
		〃	・ブルーベリー摘みとジャム作り
		8月	・調理体験教室 「伝承の行事食」
		〃	・農耕体験 トウモロコシ収穫
		9月	・調理体験教室 敬老献立「薬膳料理」
		10月	・第3回「ふるさとの食を拓く会」フォーラム
		11月	・いちょう祭り参加 「ふるさと食」調理販売
		12月	・調理体験教室 ふるさとの正月料理
18年	1月	・ニッポン食育フェア（農林水産省提唱）に参加	
	2月	・第2回「ふるさとの食を拓く会」ワークショップ ・調理体験教室 「韓国家庭料理」	
	3月	・調理体験教室 「親子で作る日本の料理」	



事業の成果・効果	<p>当初の予算規模400,000円で始めた事業活動は知名度も上がり、事業に対する反響・手ごたえは計画を大幅にうわまわるものであった。実績事業規模も計画の倍以上の80万円を超えるものとなった。</p> <p>今期始めた農耕体験も、来期には一部収益化が見込めるようになり、調理体験教室とともに当会の主力の事業に育ってきている。</p> <p>「フォーラム」・「ワークショップ」等を通じて食育の普及、食文化の研究等の成果を挙げている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた                      概ねできた                      3 あんまりできなかった                      4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた                      概ねできた                      3 あんまりできなかった                      4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実施報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ      2 多少の変更があった                      大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>新規の農業体験事業を立ち上げ、若干の売上も計上出来次年度への布石を行った。</p> <p>期初計画していた「いちよう祭り」等での事業が予想以上に反響があった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>1 参加者より高い評価を得た。</p> <p>2 会員数の伸びは期待通りで、事業の規模も計画を上回った。</p> <p>3 会員及び参加者の食に対する意識が向上した。</p> <p>4 他地域との交流、調査・研究の成果は計画を達成できた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今年の成果を踏まえ、更なる事業目的を追求する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の増強</li> <li>・調理体験教室の充実</li> <li>・調査・研究活動の充実</li> <li>・安全で健康的な「ふるさと食」の販売</li> </ul>
---------	---

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！		
団体名	八王子学生郷土さがし隊！！		
事業費	300,679円	補助金額	150,000円

事業の目的・内容	目的	学園都市八王子に注目したおみやげ品を、学生の手で研究し、制作、販売する。
	内容	学園都市史を調査し、把握する 学生のおみやげに対する認識をアンケートにより調査する 交流イベントへ参加し情報発信する おみやげを制作し、販売する

事業の実績	おみやげのキャラクター案募集	八王子の学園都市史を調査しまとめて発表
	おみやげの試作	八王子の大学マップを作成
	HP制作	おみやげに対する認識をアンケートにより把握
	学生天国 参加	
	いちよう祭り参加	



事業の成果・効果	<p>学園都市のおみやげを研究しよう！！と、広義的な概念で開始した平成17年度の活動ではあるが、八王子学生委員会10周年記念事業である「学生天国」に企画の段階から参画し、八王子の観光地「高尾」に存在する菅原道真公の銅像をキャラクター化した「みちざねくん」を、イメージキャラクターとした。文神としても著名な菅原公の銅像は、学園都市のシンボルとなりうるとメンバー、一致の意見からである。</p> <p>八王子いちょう祭り学生広場にも参画し、八王子学生委員会と共に、学園都市史の作成をし、発表した。学園都市の特色を活かした具体的な事業を実施するための調査・研究も進めてきた。アンケート統計により、学生がおみやげに関心があること、市の特色を活かしたものに興味があることも、理解してきた。</p> <p>当初の研究より、一步前進した金の合格鉛筆試作は、学園都市PRにつながると考えたことからである。試作ということで、無料配布ではあったが、学生、市民の皆様にもまずまずの好評を得た。数名の親御さんから、大学合格したよ！っと喜びの声をいただいた。</p> <p>財団法人高尾山自然公園協会にも、ご協力の快諾をいただき、円滑な連携にむけて、スタートをきった。</p> <p>ただし、無料配布であることからの評価だということが、今後の課題と考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた      2 概ねできた      あまりできなかった      4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>現状把握 試作 商品化 マーケティング 期待する効果の波及といくつかのステップを想定しているため、まだ効果をあげることができていない。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ      2 多少の変更があった      大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>実務上、大学で定例会を開催することが多かったため、会場費等に要する金額が抑えられ、その費用を他に補填した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>多くの学生にアンケートを実施した他、GISを用いたベースマップを作成した。それを基にした情報の蓄積により、多くの市民活動、団体交流が促される事が期待できる。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今年度は前倒しでおみやげを試作することができたので、18年度は試作品を商品化するための活動を行う。さらに19年度にて販売を行うために販路の確保や協力者の確保など徹底的なマーケティングを行うための準備期間として想定している。</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	炭やきは地球を救う！ 市民炭やき体験と国際交流		
団体名	エコ・ネットワーク八王子		
事業費	676,218円	補助金額	281,000円

事業の目的・内容	目的	<p>1. 炭やきは地球温暖化の軽減策である。大気汚染・酸性雨による地球環境悪化の蘇生に役立つことの講演と炭やき体験で留学生との国際交流を行い「炭やきは地球を救う！」を世界に発信すること。</p> <p>2. 炭やき人口を増やすための環境にやさしい炭やきの人材養成</p> <p>3. 市などで実施する環境イベントへの協賛 炭やき及び炭の利・活用をする団体等とのネットワーク構築の糸口を発掘する。</p>
	内容	<p>1. 「市民炭やき体験と国際交流」のイベント開催</p> <p>2. プライベート炭やき教室の実施。 ドラム缶窯の製作・設置・炭やき体験を一貫して実施する。</p> <p>3. 炭やきは地球を救う！のテーマ・展示と解説で、木炭と木酢液の正しい利用方法を伝える。</p>

事業の実績	1. 炭やきは地球を救う！「市民炭やき体験と国際交流」の実施	<p>1) 第1回目 2月25日(土)～26日(日) 1泊2日 65名</p> <p>2) 第2回目 3月25日(土)～26日(日) 1泊2日 47名</p> <p>3) 受講者 社会人53名(48%)、日本人学生3名(3%)、留学生25名(23%)、ヘルパー等・21名(19%)(2回の合計)</p>
	2. 「プライベート炭やき教室」の実施	<p>1) 国際環境NGO FoE Japan 5回 (単独開催分)</p> <p>2) 八大緑遊会 2回 (単独開催分)</p>
	3. 市などで実施する環境イベントへの協賛	<p>1) エコ・ひろば夏休み・環境実験室(8/2～4)</p> <p>2) 八王子市役所・文化祭(11/5～6)</p> <p>3) ペール缶窯の製作とケナフの炭やき・清瀬第六小学校・出張教室 (3/14)</p> <p>4) その他3団体のイベントに協賛実施</p>



事業の成果・効果	<p>1. 炭やきは地球を救う！「市民炭やき体験と国際交流」</p> <p>1) 講演付き炭やき体験イベントは中高年・男性に根強いニーズがある。</p> <p>2) 企画の内容もアトラクションを含めて、講評であった。(アンケートより)</p> <p>3) 下記要望を組み込んだ、この種のイベントは事業になりうる。</p> <p>a. 個人又はグループで炭やきをやってみたいと思っている人が多くいる。</p> <p>b. 田舎で、ドラム缶窯から作って竹を炭にしたい人が結構いる。</p> <p>c. 土壌改良、有機農法に炭を使いたい要望が強い。など</p> <p>4) 日本学生の受け入れには受講料、開催時期、事前のピーアールが課題である。</p> <p>2. 「プライベート炭やき教室」</p> <p>緑地保全団体から、間伐した炭材で炭やきをするので、炭窯を借用したい要望あり、これからの事業の柱になりうる。</p> <p>3. 市などで実施する環境イベントへの協賛</p> <p>異なる活動団体、企業の方からネットワーク構築への多くの情報が寄せられた。炭材の提供、炭撒きイベントの支援、情報伝達、炭窯作りの依頼、などあり。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 計画値 実績値 達成率 1. イベント収入 229,500 (3回) → 152,966 (2回) 67% 2. プライベート炭やき収入 45,000 → 200,000 444% 3. 市イベント等収入 0 → 56,200 4. 合計 274,500 → 409,166 149%
	その他、評価すべき点等	補助金事業が出来たお陰で、平成18年度の事業基盤が確保できた。 1. 明星大学・吉澤秀治教授との連携が図れ、新たに、炭と微生物に関する分野の体験教室の実施が可能になった。 2. 粉炭を作る中古の工具が入手でき、炭と微生物の分野など新規事業の企画・実施が可能になった。 3. 当方の企画する炭やきイベントをマスコミが取上げてくれ、受講者が予想以上に確保できた。プライベート炭やきの問合せ多数。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>エコ・ネットワーク八王子の炭やきプロジェクトの会員の人材力で出来る規模の活動形態で企画して実施・推進を図る。部外者のヘルパーを有料ボランティアとして利用することは事業性に難あり。</p> <p>体験者より会員を募集し、増員を図りながら、炭やきネットワークとのイベント等を企画する</p> <p>1. 高尾 炭撒きによる樹木の再生のためのフィールドワーク 4/29 共催 済み</p> <p>2. 八王子学園都市大学いちょう塾の炭に関する体験教室の支援 5/13~14 炭やき体験教室 2) 6/3 炭入り生ゴミの堆肥化の体験教室</p> <p>3. 明星大学・環境システム学科・新入生オリエンテーリング炭やき 5/20</p> <p>4. 炭やきとかわず桜の植樹イベント (大学セミナーハウスより依頼) 未定</p> <p>5. 炭入り生ゴミの堆肥作り体験イベント 未定 その他</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	認知症なんてこわくない！		
団体名	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE		
事業費	214,008円	補助金額	107,000円

事業の目的・内容	目的	「地域の認知症に対する、正しい理解による予防と介護支援」 正しい理解により早期発見と、治療の大切さを学び、誰もが当事者になり又介護者になりうることをして、地域として支える連携組織をつくりたい。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解に関する、専門家による継続実施</li> <li>・セミナー参加者、介護者支援のための集いの場の提供</li> <li>・相談窓口の設置（認知症・成年後見など）</li> </ul>

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年10回のセミナー実施（定員15名）（H17年6月からH18年3月）</li> <li>・当法人「デイサービスもえ」を会場として延べ135名の参加者</li> <li>・地域の方、家族の集いの場の提供</li> </ul>
-------	---





事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に対する理解と予防および進行を防ぐ為にも早期発見の大切さを学んだ。</li> <li>・継続して参加した数名の方々は、地域のサポーター・リーダーとして活躍を期待したい。</li> <li>・連携組織（見守りネット、実践部隊）の必要性、関心の深まりを得られた。</li> <li>・継続実施による、息の長い活動に参加の意欲を持つ参加者が得られた。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ      2 多少の変更があった      大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） ・講師の協力で大幅な減額となった。 ・人件費、事務連絡費を当法人のスタッフの支援でできた。 ・チラシ配布など大幅に変更し実施しなかった。
	その他、評価すべき点等	・地域の方の認知症に対する理解の深まりと、今後とも継続的な場の提供を要望された。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3、4回の自主セミナーを計画している。</li> <li>・今回の参加者を核に年2回程度規模拡大し（50～70名）の会場で開催し、理解、関心を持つ人の輪を広げたい。</li> <li>・数年後のネットワークづくりを目指したい。</li> </ul>
---------	---

## 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	まちかど景観レポート募集と発表展示会開催		
団体名	特定非営利活動法人らいふ舎		
事業費	1,469,740 円	補助金額	703,000 円

事業の目的・内容	目的	市民にとって身近にある町の景観で好きな場所、気になるもの、いろいろな行事などを写真・絵・文章などで市民にレポートしてもらう。 レポートの募集は公募の形をとる その成果を審査し、発表会、展示会を開催する。
	内容	市内の良いところ（景観、行事等）を見つけ、幅広く市民に知ってもらう。 市民の景観に対する意識を高める一助とする。

事業の実績	6月	八王子市、八王子市教育委員会、八王子市民活動協議会の後援を取得
	7月	ポスター、チラシ作成
	8月～	ポスター、チラシ完成 公募開始（10/31 応募締め切り） 公共施設、市民センター、大学、高校、中学、小学校等へ、チラシ、ポスター配布 八王子市民活動支援センターHP、八王子市民活動推進部 HP 掲載
	11月	審査会準備、応募作品整理
	11/25	審査会実施（審査員6名：多摩美術大学助教授、市の関係部署3名、八王子市民活動協議会会長、NPO法人らいふ舎理事長） 本事業は市との協働を念頭に実施しているため、市関係部署である都市計画室、観光課、郷土資料館の職員の方々に審査員をお願いした。 【受賞内容】 グランプリ(大人の部)1作品、 グランプリ(こどもの部)1作品、 準グランプリ(大人の部)2作品、 準グランプリ(こどもの部)1作品、 審査員賞 15 作品(時代賞、荘厳賞、びっくり賞、など)
	12/5～9	第1回作品展示会開催【八王子市役所2階ロビー】 応募総数186作品のうち、81作品を展示した。 多くの市民や、市役所職員の方々が、足を止めて作品を観てくれた。 訪問者へアンケート実施した。「八王子のよさを再発見した」、「来年も実施してほしい」、「素晴らしい作品が多く感動した」などの意見が寄せられた。
	12月	展示作品整理、表彰式準備
	1/14～31	第2回作品展示会開催(81作品)【高尾の森わくわくビレッジ1階ロビー】、1/15 表彰式開催
	2/2～28	第3回作品展示会開催(受賞作品20作品)【横山南市民センターロビー】
	3/2～30	第4回作品展示会開催(受賞作品20作品)【長房ふれあい館ロビー】 4月以降も引き続き、恩方市民センター等で展示会を予定。



事業の成果・効果	<p>コンテストを通して、市民が八王子の景観や行事、まちづくりに関心を持つきっかけとなった。市民が郷土八王子のすばらしさを再考するきっかけとなった。</p> <p>作品応募者や、展示会訪問者など、八王子のまちに関心のある市民との交流の足がかりとなった。</p> <p>42 人の方がアンケートに回答して下さった。(平成 18 年 3 月 30 日現在)</p> <p>以下アンケートの感想一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すばらしい作品が多く感動した。八王子の街のすばらしさが再認識されました。来年もこういうコンテストを希望します。</li> <li>・宣伝がちょっと足りなかったと思います。</li> <li>・いろいろ知れてよかったです。</li> <li>・賞に関係なく皆さんすばらしいです。うらやましいです。</li> <li>・色いろとよい作品で印象深かったです。</li> <li>・参加してみたい。</li> <li>・写真だけでなく、絵もあり面白かった。</li> <li>・次回もっと良くして下さい。</li> <li>・八王子にもまだまだよき場所が。いってみたいです。</li> <li>・全部行きたい。神社の絵がすごく上手だった。</li> <li>・こういうユニークな催しがあれば、改めて八王子に住んでいる良さを実感し、誇りに思う。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>2 概ねできた</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>2 概ねできた</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>2 多少の変更があった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営作業のためのアルバイト代が予想以上にかかった。</li> <li>・予想より応募者が少なかったため、郵送費が少なくてすんだ。</li> </ul>
	その他、評価すべき点等	<p>作品を「絵でも写真でも文章でも良い」という形式で募集したこと、応募者も4歳から79歳までと幅広かったことにより、多様な作品が集まった。結果として、面白い内容の展示会となった。</p> <p>展示会訪問者のアンケートからも、「八王子在住でも知らない場所が多く郷土八王子のすばらしさを再考するきっかけとなった。」との意見が寄せられた。また、コンテスト継続を希望する声も多かった。</p> <p>行政関係部署等との協働：八王子市、教育委員会、八王子市民活動協議会の後援を受け、審査員を市役所関係部署職員や市民団体、美術大学助教授などからお願いするなど行政、市民団体、大学関係者と協働で運営できた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテストはH19年度まで実施する予定。</li> <li>・H17年度は広報が行き届かなかったため、H18年度はHPを作成し、WEB上でH17年度の応募作品等を掲載して市民に広報する。また、市民センターなどでH17年度コンテスト受賞作品展をひきつづき開催しながら、H18年度第2回コンテストへの応募を呼びかける。</li> <li>・新規収益事業の展開を図る。</li> <li>・今までの活動実績を踏まえ、企業の協賛等を得る。</li> <li>・「はちおうじ散歩絵図」、「はちおうじ恩方夕焼けの里散歩絵図」の販売促進。</li> </ul>
---------	---

平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子アマチュア映像祭		
団体名	八王子アマチュア映像協会		
事業費	246,473 円	補助金額	80,000 円

事業の目的・内容	目的 アマチュア映像制作の知識および技術の普及を図り、映像祭を通じて地域の映像文化発展に貢献する。
	内容 家庭へのビデオ利用普及は目覚ましいものであるが、撮りっぱなし、編集なしで、人様に見せられる映像になっていないのが実情である。このような観点から一般市民への 初心者ビデオ編集講座の実施 講座成果の発表の場「八王子アマチュア映像祭」の開催

事業の実績	<p>会員全員（37名）の参画でテキストを作成し、市内在住の方を対象に「はじめてのビデオ映像制作講座/はちおうじ広報掲載」を4月から中央公民館にて連続8ヶ月間開催した。</p> <p>引続き、講座成果の発表の場「八王子アマチュア映像祭」を会員スタッフの役割分担スケジュールに基づき、11月23日クリエイトホールにて事業計画通り実施した。</p>
-------	--



事業の成果・効果	<p>「はじめてのビデオ映像制作講座」は、8ヶ月(全17回)に渉る講習にも係わらず応募数(講師・機材の制約でmax10名)を上回る大きな反響で市外の受講者も受け入れ、映像制作技術が市の生涯学習として有益であることを位置づけた。</p> <p>「八王子アマチュア映像祭」は、前年同様の大ホール会場にも係わらず、広報・八王子市HP(市民活動推進部情報コーナー)等のPRが功を奏し入場者230名と満席であった。市民はもとより市長をはじめ行政側、首都圏アマチュア映像団体の来場者からも称賛の声が寄せられ、目的とする「手作り映像」の楽しさを広く普及させることができました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>最新のデジタル・ビデオ編集から映像作品、そして大スクリーン映写の映像祭までの一貫指導は、当会の蓄積された映像技術ノウハウと自負しています。当事業の半年に渉る「はじめてのビデオ映像制作講座」と「八王子アマチュア映像祭」は、一般市民へのアマチュア映像文化普及の基礎を築きつつあると評価しています。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

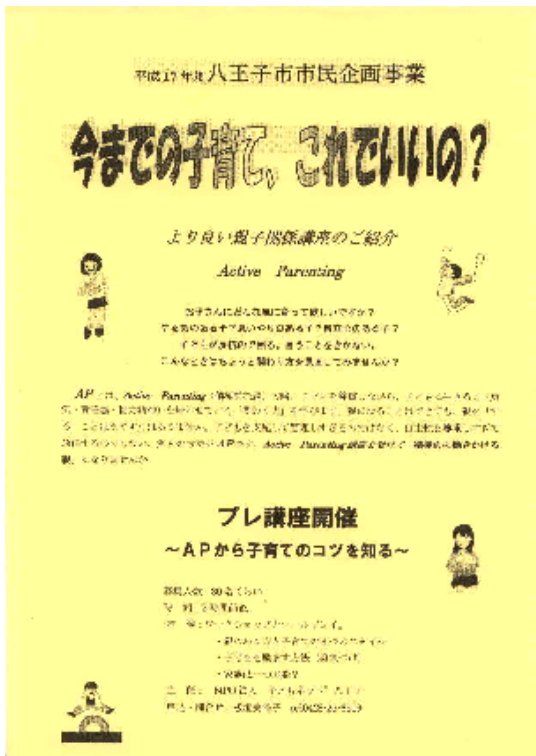
今後の事業展開	<p>視聴者のリピーターもお陰で増え、定着しつつあるとの感触を持っており地域文化活性化の兆しがあります。映像を通して豊かな文化行政の構築に貢献するため、引続き事業継続をすすめる。</p>
---------	---

# 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	NPO法人 子どもネット“八王子”子育て支援事業		
団体名	特定非営利活動法人 子どもネット“八王子”		
事業費	438,281円	補助金額	146,000円

事業の目的・内容	<b>目的</b> ・虐待、不登校、家庭内暴力、いじめ、子育て不安など家庭、地域の教育力の低下と子ども達の育っていく基盤が揺らいでいる現在、育児や養育不安を抱えている親へのサポート、又、心の援助をする人材を養成し、地域で学びあうことによりコミュニティの活性化を図る。
	<b>内容</b> ・親の気づきを促し、勇気づけ、楽しく子育てをする家庭力をつけるための講座の開催 (1) 子育て支援「より良い親子関係講座」プレセミナー2回実施 (2) 子育て講座「より良い親子関係を築く」6回シリーズの開催 (3) 子育てサポーター「APリーダー養成講座」の開催

事業の実績	1、プレセミナー第一回実施 平成17年7月1日 なかの幼稚園にて 参加者 25名。 2、プレセミナー第二回実施 平成18年1月11日 共励保育園にて 参加者 30名。 3、APリーダー養成講座の実施 平成17年8月27日～28日 子安市民センターにて 参加者 9名。 4、「より良い親子関係講座」6回シリーズ 開催 クリエイトホール 参加者 9名
-------	--



事業の成果・効果	<p>市内の幼稚園、保育園からの協力を得ることができ、多くの親達が集う場で講座を開催することができた。参加された親達からは、自分自身の気付きと、もっと早くこの講座に出会いたかったと嬉しい感想が寄せられた。また、APリーダー養成講座を実施することにより、新APリーダーが誕生し子育てサポーターとして各地域で活動をしている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった          主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった          主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している          主な理由(2、3と答えた場合のみ)          チラシ等の印刷及び郵送費等の面で、当法人の印刷物、郵送と兼ねることにより、経費が削減された。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>親自身の気づきと笑顔を取り戻して帰る姿に改めてこの講座の占める力の大きいことと必要性を感じた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>市民企画事業補助金を受けたことで、親たちにこの講座を知っていただけたこと、又、APリーダーを養成できたことで、今後は母親学級や3歳児検診など行っている保健所、保健センターなどへ活動の場を広げて行きたい。また、市内学校など教育現場、地域と密着している市民センターなどへも出前講座の実施などに向けて働きかけて行きたい。</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域特産品の開発（特に桑葉粉製食料品）		
団体名	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所		
事業費	1,245,911円	補助金額	400,000円

事業の目的・内容	<p>目的 当市には土産物になるような特産品が少ない。最近健康、美容指向の食品のブームである。これらを背景に於いて、かつて当市は「桑の都」と称された事もあり、桑葉が血糖値を抑え、生活習慣病の予防や治療の面でも効果が認められ、かつ太りすぎ予防の効果もあるので、地域の特産品としての開発を目指している。</p> <p>内容 市内にある意欲的な食品製造店に声を掛け、協働で桑粉利用の食品を開発する。当面和菓子、洋菓子、麺、豆腐等の店と障害者による作業場に声を掛けた。この結果桑餛飩、桑どら焼きは毎日販売できるように客が定着し、目下一層の改良を目指している。多くの人に食していただく機会を作り、八王子の名物として定着を図るべく拠点となる場所を開発し地域の名産となるよう併せて土産物として定着するようチラシ等も作成した。</p>
----------	---

事業の実績	<p>平成17年度は企画してから3年目になるが、常時店頭に置けるように定着してきた。従って、チラシ、標識になる「のぼり」等を作成し、くわ乃店のイメージの定着を図っている。業者によって賞味期限に差があるので、これらの商品をどうするかが課題である。行事としては5月の学生天国、8月の八王子まつり、11月のいちょう祭り等でPRに努めている。又、創価大学押金健吾教授の桑園を支援した事により桑の品種改良が成功し、味覚の充実も可能となった。</p>
-------	---





事業の成果・効果	<p>桑うどんは製造業者の努力により、金融機関の支援を得ることもでき、贈答品として広く配布する事ができた。このことにより、認知度が高められた。参加店により意識の格差があるので、今後研究を重ねることで、安価で美味しい食品としてもそうだが、むしろ郷土の歴史と文化を象徴する特産品としての土産物で周知を進めたい。徐々に桑に関心が高まりつつあるので、拠点となる店の出店を考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった          主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた      概ねできた      3 あまりできなかった      4 ほとんどできなかった          主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ      多少の変更があった      3 大幅に変更している          主な理由(2、3と答えた場合のみ)          創価大学押金健吾教授が新しく桑の品種改良に成功し、シフトをそちらに向けたため。</p>
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後の方向性としては、「桑都日記」の銘で土産物として販売するための方法を課題としている。又もっと低価格で販売できるような品、例えば人形焼きを改良し、地域の歴史と特性を活かすべく「大納言焼き」のような品の開発を進めている。桑の匂い香と苦みをどのようにするかが課題であったが、創価大学の押金健吾教授の桑園での品種改良が成功し、来年度には収穫できる見通しが立った。製粉の段階でこれらを改善する事に期待できる。</p>
---------	--

平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ラーメンマップ作成		
団体名	八麺会		
事業費	851,289 円	補助金額	280,000 円

事業の目的・内容	目的 ラーメンのまち八王子による町おこし
	内容 地域ブランドとして注目されはじめている「八王子ラーメン」とともに多種多様なラーメンが集まる「ラーメンのまち 八王子」を広報し、市民はもとより首都圏をはじめとするラーメン好きの人達に向けてPRし、八王子市の観光の核とする。

事業の実績	<p>平成 17 年 2 月にはHPの開設。 3 月には持ち歩きできるラーメンマップを 2 万部印刷し、市内各所で第 1 版を配布した。</p> <p>配布直後からマップ作成は新聞の地域版などで取り上げられ、配布場所などに対する問い合わせが相次いだ。その後、テレビや雑誌などでも話題になり、知名度は高まった。</p> <p>第 2 弾として発行する今年度は新たに 10 店の取材を行い、店舗情報を充実させるとともに、他の NPO 法人と協力し、地域の散策スポットを紹介することで、ラーメンの食べ歩きをしながら、八王子の美しい自然を楽しめるように工夫した。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>大学生、クリエイタ達と共同して作成して作ったラーメンマップは配布した人から大変な好評で、食べ歩きを目的に、八王子のまちを人が行き来するといった効果が見られる。</p> <p>実際に各店の店主からは、地図を片手に食べ歩いています。という新しいお客さんが多数見られたとの声があった。</p> <p>また、テレビなどのマスコミに「八王子ラーメン」が取り上げられることも多くなり、八王子の知名度向上に貢献した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>配布と同時に部数不足が予想されるなど好評である。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>初版・2版ともに人気なので、今後は発行主体を考えていかなければならないと考えている。</p> <p>引き続き、メール会員を募集し、会員にはお得な情報を発信し、さらなる定着・発展を目指す。</p>
---------	--

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	COOL DESIGN CONTEST		
団体名	八王子商店研究会		
事業費	702,448円	補助金額	230,000円

事業の目的・内容	目的	八王子市の潜在的なデザイン力を発掘・向上するために、コンテストにより、「才能のある隠れたデザイナー」を発掘・支援し、デザイナーの登竜門としての役割を担う。八王子の街並みに市民によるアート作品をあふれさせることで、市民が参加意識を持って、親しみがあり、デザインセンスにあふれる街並みを実現する。商業広告に多種多様で本格的で先進的なデザインの導入事例を提示し、参加店舗およびその近隣店舗の広告宣伝のレベルアップを図り、ひいては八王子市の商業をはじめとする産業のイメージアップを図る。
	内容	八王子のデザインセンスの優れた学生や市民から広くグラフィックデザインを募集し、当会会員により選考するデザインコンテストを実施する。入選作品を当会会員などの個店の店頭で活用し、デザインセンスのある街並みづくりを提唱するとともに優秀なデザイナーの登竜門としての役割を担う。当会では、ポストカード、コースター、ホームページなど先進的な広告ツールを使って、コンテストの入選作品を広くPRし、「デザインのまち八王子」の実現により八王子の産業全体のデザイン力の向上に貢献する。

事業の実績	募集期間	平成17年7月1日～平成17年9月30日
	応募作品数(入選数)	30点(最優秀賞1点、優秀賞5点、CD賞5点)
	審査選考会	平成17年11月15日(火) 学園都市センター
	表彰式(新年会同時開催)	平成18年1月25日(水) 八王子エルシィ



事業の成果・効果	<p>1・市内大学等に対し幅広く告知することで、商業と市民・学生の連携による活動をアピールすることができ、昨年以上の応募があった。</p> <p>2・応募要綱を具体的に示し、各クライアントの募集イメージを提示したことにより、実用が実現しやすいデザインが多く集まった。</p> <p>3・入賞作品を活用し、店頭での販促用品や広告メディアとして実際に実用を始めている。</p> <p>4・作品に応募していただいた方との交流ができ、デザイナーとの情報交換ができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>外部クライアントを増やすことができず、広範囲での展開に至らなかった</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	採用された作品は確実にレベルが上がっており、広告ツールとして十分な品質がある。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>昨年度同様、具体的なイメージを提示して作品を募集する。</p> <p>会員外の商業者にも幅広く参加を呼びかける。</p> <p>作品を活用した広告ツールを、市民の目に触れるように配布、設置する。</p> <p>シャッターペイントなど、街の景観に対しても活用の幅を広めていく。</p>
---------	--

平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	たまり場コーディネート・プロジェクト		
団体名	八王子子どもの居場所づくりプロジェクト		
事業費	603,266 円	補助金額	200,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>第1は、子どもたちの居場所づくりに係わる各団体、各地域の活動を支援することにある。第2に、「サタデースクール事業」をさらに継続、発展させる支援を行うこと。第3に、大学生のパワーとエネルギーを各地域づくりの試みに、活力とエンパワーメントを与えることを目的としている。</p>
	<p>内容</p> <p>(1) 子どもの居場所づくりを子ども主体に作り上げる活動の支援及び実践として「たまり場」事業</p> <p>(2) 子どもの居場所づくりに関わる各団体の交流・連携及び子どもの居場所づくりのための人材の育成として「大学生サークルの交流ネットワーク」事業</p>

事業の実績	<p>(1) 「たまり場」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たまり場教室」として以下の教室を各団体と連携して派遣実施。 タグラグビー（8会開催） スナッグゴルフ（2回） おもちゃ病院（4回） ペットボトルロケット教室（2回）</li> <li>・ 6月25日 シンポジウム「居場所づくりを考える」 八王子市立七国小</li> <li>・ 10月15日 小山内裏公園こどもまつり</li> <li>・ 11月6日 八王子市文化祭</li> </ul> <p>(2) 子どもの居場所づくりに関わる各団体の交流・連携及び子どもの居場所づくりのための人材の育成として「大学生サークルの交流ネットワーク」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月6、7日 プレーリーダー講習会</li> <li>・ 10月9日 子ども広場</li> </ul> <p>(3) 「子どもの遊びと運動に関する調査」 5つの小学校に協力いただき実施 6小学校 619名の協力を得て調査を実施</p> <p>(4) 活動事例紹介 青少年育成国民会議制作の「大人の居場所」というビデオ（文部科学省推薦）日本青年奉仕協会（JYVA）の「異世代協働実践ガイド」に活動事例が掲載。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>17年度の補助金により、 私たちの活動の基盤づくり、 地域の子どもに関わる活動支援、 私たちの団体を認知していただくことができた。</p> <p>「たまり場」事業として、各地区の小学校のサタデースクールに教室及び講師の派遣事業については、前年度を上回る派遣実績があった。子どもたちの成長にスポーツは欠かすことはできない。スポーツが盛んな時代にあって、スポーツが不得意な子が地域でスポーツを楽しむ機会はむしろ減少している。そのような事情をふまえて、スポーツが不得意な子を含め、子どもから大人まで楽しむことができるニュースポーツの体験教室を開催し、多世代で手軽にどこでもスポーツを楽しむ活動の普及を目指す。</p> <p>「子どもの遊びと運動に関する調査」を実施して、屋内遊びと屋外遊びについて、従来は学年があがるにつれて屋内遊びが多くなるとか、女子よりも男子の方が屋外遊びが多いという説が支配的であった。今回の調査で、それらの要因よりも、「友人関係」の要因の方が大きく関わっていることが明らかになった。</p> <p>それらに加え、 青少年育成国民会議制作の「大人の居場所」というビデオ（文部科学省推薦）が作成され、私たちの活動が紹介された。また、日本青年奉仕協会（JYVA）の「異世代協働実践ガイド」においても活動事例として私たちの活動が掲載された。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 収入面では、事業収益が大幅に少なかった。支出面では、団体調査としてのデータベースづくりが進まなかった。
	その他、評価すべき点等	青少年育成国民会議制作の「大人の居場所」というビデオ（文部科学省推薦）が作成され、私たちの活動が紹介された。また、日本青年奉仕協会（JYVA）の「異世代協働実践ガイド」に活動事例が掲載された。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>イベントではなく、継続的に事業が進められるよう地域での仕組み作りを行う。結果として子どもたちを見守る地域における多世代コミュニティづくりのきっかけ作りをめざす。</p> <p>本年18年度は市民企画事業による3年目の区切りの年である。その意味で、団体の足腰をしっかり整える必要がある。そのためには、より会員増大や、支援・協力団体の拡大等課題も多いが、昨年度できなかったNPOへの移行を検討したいと考えている。</p>
---------	---

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	30周年記念公募第34回八王子アンデパンダン展		
団体名	美術集団 八王子アンデパンダン		
事業費	816,164円	補助金額	80,000円

事業の目的・内容	目的 八王子市内の美術家が任意の美術集団八王子アンデパンダンを結成して、市内在住の美術家は勿論のこと、他市町村の美術家を対象にアンデパンダンの理念の元に各分野の多種多様な作品を集め、公募展を実施すること。
	内容 市民参加の実行委員会の設置、公募展の導入、アンデパンダン展の理念の通り、無償無審査の採用、各種各分野の作品の公平な展示と取り扱いに十分な配慮をした。

事業の実績	<p>創立30周年記念誌 公募八王子アンデパンダン2005年11月1日発行          規格 A4 P62 白黒 部数300冊          記念誌編集委員会設置 ・会員12名で構成 ・委員長 渡井善策          実行委員会設置 ・一般参加3名 会員19名 計22名 ・委員長 工藤孝生          予告ポスター配布 ・美術館、画廊、画材店、美大、研究所 約150部          作家への出品要請 ・配布地域          八王子市、日野市、立川市、多摩市、国分寺市、小金井市、武蔵野市、小平市、昭島市、あきる野市、青梅市、相模原市、町田市、世田谷区、豊島区、横浜市、川崎市、津久井郡、大月市、柏市、さいたま市 約200部</p>
-------	--





事業の成果・効果	<p>創立30周年記念公募第34回八王子アンデパンダン展 11月2日(水)～11月6日(日) いちょうホール1、2階 展示室</p> <p>参加作家 47名 作品数 150点</p> <p>ジャンル 洋画、日本画、水彩画、パステル画、写真、陶芸、織物、染色</p> <p>参加市町村 八王子市、日野市、津久井郡、藤沢市、板橋区、武蔵野市</p> <p>入場者 1日平均200名 期間中 約1,000余名</p> <p>記念誌は東京都美術館及び関東地区、三多摩の美術館、その他八王子の図書館へ配布する。 礼状頂く。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>任意の公募展を在住の表現者が30年間も続けて来た事を高く評価する。教育委員会及び学園都市文化ふれあい財団、学園都市文化課等行政側の検討と支援を希望する。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>任意の市内在住の表現者が結成した美術集団八王子アンデパンダンが提唱した公募展の継続を願って、更に展開する計画です。その目的を遂げるために会の財源を確保する必要があり、賛助会及び構成会員等の募集増員を考えております。</p>
---------	--

平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	支援者研修(カウンセリング)講座		
団体名	特定非営利活動法人 日本ウェルネット		
事業費	1,180,757円	補助金額	390,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b>          少子高齢化社会、グローバル化と複雑な現代社会において、心の病はますます増加すると考えられる。この心の病に対する予防対応とノーマライゼーションの確立が求められています。家族や周囲の正しい理解と対応で、不幸や事故が未然に防止でき、生きがいややりがいに結び付けられる地域の福祉環境が必要です。そのためには、心の自立とカウンセリングマインドの啓蒙と身近な場所に気軽に話せる『心の相談員(支援者)』が必要です。事業3年目あたる本年度はその人材育成と相談システムの基礎を構築し、行政等との事業の協働化を図りたい。</p>
	<p><b>内容</b>          カウンセリングマインドの啓蒙を図るため、“社会情勢に対応したテーマ”を設定した入門講座等を実施する。          市民福祉研究会会員のスキルアップ研修を実施する。          アソシエーターの相談実践力向上を目的に、ロールプレイを含めた『相談対応実践講座』を実施する。</p>

事業の実績	<p>1、入門講座 開催回数 6回 参加者 315名          危機管理のための心のカウンセリング          『これからの人生』よりよく生きる          『ともに考える』心のカウンセリング          介護、子育て、暮らしに役立つ心のカウンセリング          『カウンセリングの実際』を観る          介護、子育て、暮らしに役立つ心のカウンセリング</p>
	<p>2、市民福祉研究会 開催回数 6回 参加者 延べ 134名          研究会会員のモチベーションを高めるため、研修テーマを設定し学習          3、相談対応実践講座          少子高齢化の社会環境に対応し、第1回は「介護」、第2回は「子育て」を中心にグループワーク等も取り入れ、相談対応力の強化学習を行った。          第1回 全8日間開催 参加者 25名          第2回 全6日間開催 参加者 15名          4、心のカウンセリング基礎講座『講義要録』の作成、配布 30冊</p>



事業の成果・効果	<p>1. 人材育成プログラムの構築(アソシエーター資格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上級講座修了と修論提出</li> <li>・ 市民福祉研究会への継続参加</li> <li>・ 相談対応実践講座への継続参加</li> <li>・ 指導講師による教育面接の継続</li> </ul> <p>2. 人材育成(成果) アソシエーター資格者 34名</p> <p>3. アソシエーターの活用(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長房ふれあい館「お話し相手コーナー」への派遣 ... 6月19日から開設予定</li> <li>・ ディサービスあじさいの「相談コーナー」への派遣 ... 9月予定</li> </ul> <p>4. 講座内容の充実</p> <p>(ア) 基礎講座 ... 「講義要録」の活用</p> <p>(イ) 中級講座 ... 「通信講座」の採用</p> <p>5. カウンセリングの啓蒙普及活動</p> <p>企画事業、入門講座等の動員数 ... 3年間で延べ600余名</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) アソシエーター(相談員登録対象者)が34名となり、その活動実践力を高めるため、市民福祉研究会における実践研修(7日)、相談対応実践講座2回(14日)を開催したため、指導講師料が増加した。
	その他、評価すべき点等	市民企画事業として、3年間継続してきたことで、当会のカウンセリング事業の市民への認知度が向上し、こころの相談やカウンセリングの希望者が増加し、子女の引きこもり等の問題解決が数例図られている。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

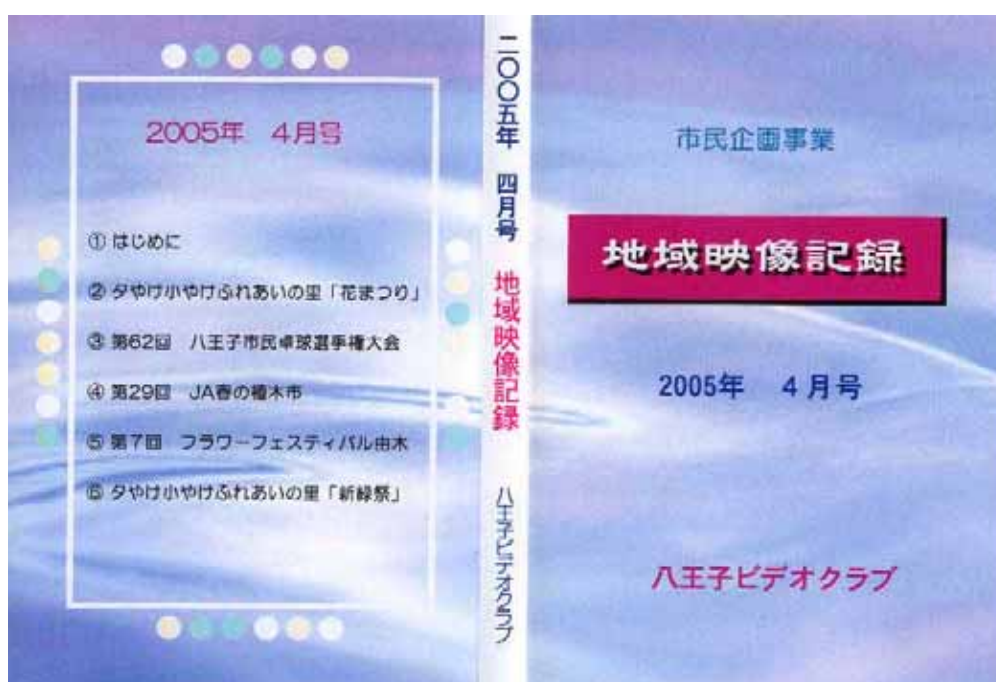
今後の事業展開	<p>現在、私たちにとって、不安や心配事が絶えない生活環境となっています。また、少子高齢化による核家族化・グローバル化等で、人間関係においても“絆”や“信頼関係”が希薄になり、不安等を安心して話せる相手を探すことが難しくなっています。したがって、当会は、企画事業の中で育成されたアソシエーター(相談員)の活動促進 入門講座・特別講座等の開催による“カウンセリングマインド”の啓蒙 障害者・虚弱者等、専門的知識を必要とする相談に対処するためのネットワークづくり 各種講座を継続し、団塊の世代層を中心にしたカウンセラー(アソシエーター)的人材の育成に取り組みます。過去3年のご援助とご指導に感謝し、今後のご指導をお願いいたします。</p>
---------	---

## 平成17年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	映像文化の普及を通じて地域コミュニティに参加		
団体名	八王子ビデオクラブ		
事業費	775,407円	補助金額	256,000円

事業の目的・内容	目的	会員の趣味であるビデオ技術を使って地域活動に参加したい
	内容	テレメディアの市民取材協力員として活動 八王子市の地域映像記録を作成し図書館などへ寄贈、また住民協議会との協力によるセンターまつりでの映写会開催 八王子市のいちょう祭り、夏祭りの自主制作 いちょう祭りにビデオ祭りのイベントに参加 オール多摩アマチュアビデオコンテスト連絡会を発足(八王子ビデオクラブが事務局となる)

事業の実績	<p>ほぼ計画どおりの実績をあげることが出来た          巡回映写会は3ヶ所のセンターでの実施で端緒についてところ          今後住民協議会との連携を密に行きたい</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>1. 八王子テレメディアの取材協力員として活動（平成11年より毎年100本以上） ことしはデイリーニュースに対応実績110本。</p> <p>2. 上記活動を中心にDVDによる地域映像記録を作成、市民が閲覧できるように市内図書館、市民活動支援センター、市広報などに寄贈している。数年後には、大きな映像遺産として価値ある記録になると思っている。</p> <p>3. 八王子まつり、いちょう祭りのビデオ記録を制作し、関係部門に寄贈。</p> <p>4. いちょう祭りに「ビデオ祭り」のイベントで参加。パソコンによる編集の実演アマチュアハイビジョン講座を催す会員2名増加。</p> <p>5. オール多摩アマチュアビデオコンテストを開催するため諸団体と話し合いを重ね「多摩アマチュアビデオコンテスト連絡会」を発足、当クラブが事務局を担当。応募期間は5月より8月、審査表彰は10月。3月より宣伝を開始。</p> <p>6. 石川、子安、横山の住民協議会に参加し、各市民センターでの『地域映像記録』上映会実施。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	実績を重ねたことで地域に名前が浸透してきた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	現状を継続するなかで新しい分野を切り開きたい。
---------	-------------------------

## 平成 17 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	つくろう市民のITセーフティネット、なくそうデジタル・デバイド		
団体名	情報ボランティアの会（八王子）		
事業費	263,788 円	補助金額	80,000 円

事業の目的・内容	目的	本事業は、平成 15 年度、平成 16 年度の市民企画事業補助金制度対象事業の継続事業であり、市民の手による、市民のための「デジタル・デバイド」の解消を目的としている。
	内容	本事業の内容は以下の通りである。(1) クリエイトホールで毎週日曜日の午後開催し、市民全体の IT のセーフティネットを目指す「市民のためのパソコン・インターネット何でも相談会」、(2) 年 1 回開催する「パソコンとインターネット祭り」、(3) 障害のある方のパソコンの使用をサポートするボランティアの養成を目指す「ボランティア養成講座」の開催、である。

事業の実績	以下事業別に実績を述べたい。	<p>(1) 「市民のためのパソコン・インターネット何でも相談会」は、毎週日曜日午後 2 時から 4 時（12 月より午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで）までクリエイトホールで開催した。開催回数は 50 回、相談者数は 403 名、参加会員数は 674 名であった。</p> <p>(2) 「パソコンとインターネット祭り」は、「八王子ビデオクラブ」の協力をえて、2 月 26 日（日）にクリエイトホールで開催した。会場の関係から昨年度より規模は多少小さくなり、また当日は天候に恵まれなかったが、来場者は 109 名を数えた。また会員は 50 名が参加した。</p> <p>(3) 「ボランティア講座」は、1 月 28 日（土）に八王子市心身障害者福祉センターで開催した。会員外の市民の参加者は 1 名であった（会員は 12 名参加）。今回は掲載制限のため、市の広報で本事業の告知を掲載できず、代わりに市民活動支援センター等で告知を行ったが、十分に市民に告知ができなかった。これは市の広報のみに告知であった昨年度とは対照的な方法であったが、いずれの方法でも市民に十分に告知できなかったのは反省すべき点である。今後このような企画を実施する場合には、講座の内容がより多くの市民に伝わるよう工夫をしていく必要があると考えられる。</p>
-------	----------------	---



事業の成果・効果	<p>事業の成果に関しても、事業別に述べていきたい。</p> <p>(1)「市民のためのパソコン・インターネット何でも相談会」は平均して8名の相談者に来ていただいた。この人数は昨年より減少しているが、これは初心者の相談が以前より減少したためではないかと考えられる。一方相談者ひとりあたりの相談時間は長くなっており(多くは2時間程度)このような意味で市民のパソコンやインターネットやパソコンの「駆け込み寺」としての役割を十分に果たしたのではないかと考えている。</p> <p>(2)「パソコンとインターネット祭り」では、会場の関係から例年より規模を縮小して開催した。今年度は昨年度を踏襲し、携帯の使用法やパソコンのセキュリティ関係、さらにはデジカメ、ブログ関係の講座の開催、名刺作りなどワードの使用法、八王子ビデオクラブの協力を得たビデオ講座の開催など、多岐に渡る分野でパソコンとインターネットの楽しさや気をつけなければならない点などについて市民に伝えることができたのではないかと考えられる。</p> <p>(3)「ボランティア講座」は、告知方法の問題から一般市民の方の参加は少なかったが、障がいを持たれている方へのサポートの方法やその重要性を理解していただいたと考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 実施計画書にあった「八王子自治研究センター」からの助成金が申請の時期の関係から未交付であるため、不足分は会からの出費を充てた。
	その他、評価すべき点等	今年度で3年間の事業が終了するが、3年間継続して事業が実施できたことは、評価できるのではないかと考えられる。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後の展開についても事業別に述べていきたい。「何でも相談会」は、以前より相談者数が減少しているため、平成18年4月より第1・3日曜に開催を限定している。「祭り」は今後も年1回の開催を目指していきたい。「ボランティア講座」に関しては、今後も市民への講座開催の告知の方法を工夫し、より多くの市民に参加していただく形で開催できないか会内部で検討を行っている。</p>
---------	---





事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年目となるこの活動は、年を重ねるごとに多くの人に関わるようになってきている。本年度は、1年目のほぼ2倍近い54名の人と共に活動した。(障害のある人34名、サポータースタッフ20名)。活動の広がりを感じている。</li> <li>・ オーディションを行うことで、スクール生の自発性が確認でき、活動全体が活気と集中力に満ちたものとなった。</li> <li>・ 連続講座では、参加者が自ら考え、イメージをふくらませる過程を大切に、ひとりひとりの表現を尊重するように心掛けた。また、他者の表現からも多くを学び、仲間意識が深まるようグループワークなども工夫した。</li> <li>・ 営業活動に力を入れたことで、3年目にして次年度繰越金が出来た。</li> <li>・ 3年間の活動を通じて、施設でもなく、学校でもなく、興味があれば誰もが参加できる表現の新しい場に可能性を感じている。</li> <li>・ 発表公演をすることで、参加者に自信や夢が芽生えてきている。また、舞台を観た人たちにも、大きな感動や印象を与えることが出来、社会参加の大きな一歩となった。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>この活動を広く知って貰うことを目的にフリーペーパー「たにし」(全3号)を発行した。また、地元のメディア(タウン誌、八王子テレメディア、市民活動支援センター通信など)にも取り上げられた。公演終了後、フォーラムを開催し、現場のスタッフの声をもとにこの活動に対する考えを深めることが出来た。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4期目も引き続きこの事業を継続して行っていく。スクール生が、より専門的に表現を磨けていけるよう、プログラム内容を工夫していく。(全体プログラムと選択プログラムを準備する)</li> <li>・ この活動が安定したものになるよう、営業活動および補助金申請などを精力的に行っていく。</li> </ul>
---------	---

## 6 成果報告会 アンケート結果集約表

### アンケートの概要

実施日	平成18年5月28日(日) 成果報告会時
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告に対する意見・感想
回答数	17

<b>事業名</b>	My お手玉でお手玉遊び
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手玉で遊ぶだけでなくお手玉製作、講習会と全般にわたり広がり可能な活動方法だと思う。(50代・男)</li> <li>・お手玉を多世代交流に役立てたいとの意気込みがよく伝わってきました。今後も頑張ってください。(40代・女)</li> <li>・自分で作って遊ぶ楽しさ、人とふれあいながら遊ぶ楽しさ、それを学ぶということは、とても素晴らしいことだと思います。(10代・女)</li> <li>・活動の幅が広く活発。まちづくりの観点から見ても素晴らしい活動だと思う。(20代・男)</li> <li>・伝承遊びを通じて、子供から高齢者まで交流でき普及と共にいろいろな効果が得られると思います。</li> <li>・無理せず、子どもたちと楽しんでいる様子が素敵だと思いました。(20代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	八王子生まれのネオテニス普及推進活動
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの様な開催だったかが少々わからなかった。写真があればよかったと思う。(50代・男)</li> <li>・規模の拡大が見込め、会場の提供を市が支援すれば、もっともっと人を呼びこみ、八王子市の活性化につながると思われる。(20代・男)</li> <li>・映像があるともっと良さが伝わるように思いました。(20代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	この料理ってどこから来たの？
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的である「文化的に培われた食のルーツ」の部分が見えない。(50代・男)</li> <li>・自主運営の方向が見えるほどの成果があがったとのこと、これからの活躍を期待しています。(40代・女)</li> <li>・自主運営の仕組みづくりが大切。料理勉強会に参加して見たい。(20代・男)</li> <li>・地元大学との連携ができたことはこれからの活動をさらに幅広くしていくことが見込まれる。現在の活動は地域生活文化研究と重なるところが多いのもっと独自の活動を広げていてもらいたい。しかし、事業が起動にのったことは評価できる。(20代・男)</li> <li>・学生活動、国際交流もあるとおもしろいのでは？</li> <li>・学生の方々の若い人の参加は将来の為にいいと思います。(50代・男)</li> </ul>

事業名	夢あるまちづくり
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲が広すぎて大変だったと思う。「夢あるまちづくり」の「夢あるまち」って？（50代・男）</li> <li>・せっかくパワーポイントを用意されていましたが、文字が小さすぎて客席からは読めなかったのが残念です。多様な活動を展開されているので、今後は継続が課題になると思います。（40代・女）</li> <li>・行政に頼るだけでなく、市民が自ら街づくりをするということは、今最も必要とされていることだと思います。（10代・女）</li> <li>・活動が活発でその趣旨も素晴らしい。少ない予算の中でということもあるが、広報をもっと充実させ、さらに幅広く活動していただきたい。（20代・男）</li> <li>・多数の事業を実施していて、やる気を感じました。（20代・女）</li> </ul>
事業名	市民の立場でごみ問題を考える（エコイベントの企画から実施まで）
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを出さない策はなかったのでしょうか？（50代・男）</li> <li>・学生天国 で使用されたリサイクル容器は現物も見ましたが、ユニークな製品でした。これからも市民生活の視点から情報提供を続けてもらいたく思います。（40代・女）</li> <li>・リサイクル容器の普及がもっと増えたらいいなと思います。（10代・女）</li> <li>・リサイクル容器うちわなど、身近なところから環境に考えてもらうきっかけをつくっていて、入りやすいと思った。（20代・男）</li> <li>・現段階では、広報が甘く活動の幅が狭い。活動内容はまちづくりの上ですごく重要なことなので、昨年度にむすびつく事のできた団体と協力して、活発に活動して欲しい。それと、うちわを作った趣旨が不透明。（20代・男）</li> <li>・配布したリサイクルうちわがゴミにならない方式も考えなければと思います。（20代・女）</li> </ul>
事業名	「証言」集の発行で被爆体験を後世に
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素人ながらやむにやまれぬ思いで活動されたことに敬意を表します。支援を還元するため、市内小中学校に証言集を寄贈いただきありがとうございました。（40代・女）</li> <li>・慣れない事に取り組み、良く作ったと思う。（50代・男）</li> <li>・小中学校等への寄贈をされたとの事で、これからの平和教育に意義ある活動をされたと感じました。（40代・女）</li> <li>・熱意、継続する意志、発行による具体的な成果が分かりやすく伝わってきました。</li> <li>・活動内容、実績ともに素晴らしい。しかし、活動の幅が狭いのもっと他地域と協力して、広く広く活動していただきたい。（20代・男）</li> <li>・思いと意気込みが伝わりました。（20代・女）</li> </ul>
事業名	環境教育推進活動
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの環境に興味をもつことが、即ち環境の再生 保全へとつながるという趣旨の活動だと思いますが、発表が少し散漫で、伝わりにくかったと思います。（40代・女）</li> <li>・八王子市としてのどんな環境問題が有り、どう対処していくのかよくわからない。目的内容と実施事業のリンクがわからなかった。（50代・男）</li> <li>・環境教育が必要なことは理解できますが、子どもにもわかりやすい取り組み、一般市民にもアピールする活動など、まだ工夫の余地があるかと思いました。（40代・女）</li> <li>・かなり大きな活動をしており、実績もある。もっと細かい活動もして活発に活動してもらいたい。（20代・男）</li> </ul>

事業名	バリアフリー調査
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校や公共施設を調査してきたということはよくわかりましたが、その先それをどうしたいのかという点を知りたかったし、そこが大切なのではないでしょうか。(40代・女)</li> <li>・比較的新しい施設である、いちようホールがバリアフリーの観点からは不十分であることは残念です。調査結果を広く知らせる努力も是非、お願いします。(40代・女)</li> <li>・事業者がどのように使われたのかは分らないが、節約のやり方はいろいろあるように感じた。もっと目に見える活動をしてもらいたい。(20代・男)</li> <li>・続けていって頂きたい事業だと思いました。(20代・女)</li> </ul>
事業名	長池こどもの居場所作りの会
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間80回も実施されたということは、かなり活発に活動されたことと思います。子どもたちの自主的な活動も盛んになっていくとさらに充実するかと思いました。(40代・女)</li> <li>・異年齢間の交流は、今本当に必要なことだと思います。地道な口コミが一番の広報とお話になるほどと思いました。(30代・男)</li> <li>・事業の成果が至る所に現われ、理想的なコミュニティが形成されているようだった。(10代・女)</li> <li>・しっかりとした活動ができており、地域にも浸透し始めている。今後はさらに活動範囲を広げ、他地域との交流もつくってってもらいたい。(20代・男)</li> <li>・現代の子どもに関するいまわしい事件の多発する中、このような地域での活動はこれからはますます期待されます。</li> </ul>
事業名	親子で体感 生きた言葉と楽しいコミュニケーション
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんと小さい人たちを対象とした講座は需要が多いので、そういった風潮によく応える活動だと思います。盛りだくさんな内容のため発表が駆け足だったのが残念でした。(40代・女)</li> <li>・親も子も楽しく遊び、学んでいる様子が伝わってきました。(40代・女)</li> <li>・子どもの時にコミュニケーション能力をつけることは大切。それには親の力が絶対に必要で、この事業をもっと広めていったらいいと思う。(10代・女)</li> <li>・市民企画事業を生かして広報していた。(20代・男)</li> <li>・活動は活発で内容もしっかりしているが、使われた事業費に見合う結果が残せているとは思えない部分がある。搾れるところはしっかり搾ってその搾ったお金を他に注ぎ、もっと中身を濃いものにしてもらいたい。(20代・男)</li> </ul>
事業名	学校図書館支援講座
アンケートでの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行った行事の一つひとつの成果がよくわかり、それをもとにさらに発展させる展望も語られ、よくまとまった発表だと思う。(40代・女)</li> <li>・現在、映像で学ぶ教育が盛んであるが、読書からの知育は大切である。支援講座で、より図書館の充実を期待する。(70代・男)</li> <li>・企画、実施がしっかりしていると思った。(50代・男)</li> <li>・概要説明の文字は客席からは全く読み取り出さず残念でした。八王子の小・中学校にも司書が配置されればという点では同感です。(40代・女)</li> <li>・活動は活発で実績もある。さらに活発にそして、広報にも力を入れて認知の向上を目指してもらいたい。(20代・男)</li> <li>・教育現場で大切な活動だと思います。</li> <li>・開かれた場所になるよう頑張ってもらいたいと思います。(20代・女)</li> </ul>

<b>事業名</b>	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン「ココロ」児童虐待防止事業
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の講演には私も参加して私も話を聞きたかったと思いました。児童虐待防止は社会的にもとても大切な問題なのでこれからも活動を広く展開してください。(40代・女)</li> <li>・講演会で補助金が出るのは羨ましい。我々は学習会を兼ねての補助金しか貰えないので。(70代・男)</li> <li>・こういった公益的な活動については、フリーダイヤルを使えるようNTT等電話会社は考慮してもらいたいと思いました。(30代・男)</li> <li>・活動内容は素晴らしいが、もう少し参加しやすいものにしてもらいたい。そして、もっと活発に活動してもらいたい。あと、大きな活動は確かに重要だが、もっと細かく浅い活動もしっかりと行ってもらいたい。(20代・男)</li> <li>・子どもの声を通して大人のすべきことを探っていく、現在、特に必要な活動です。質疑応答のフリーダイヤルの話が印象に残りました。実現できるとよいと思います。(20代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	東京スポーツビジョン21 スポーツクラブ活動事業
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供は無限の可能性と遊びから学ぶと思う。参加することに意義がある。貴活動に感謝し今後に期待したい。(70代・男)</li> <li>・ラグビーを楽しそうに行っている様子はよくわかりましたが、それが事業としてどういう意義を持っているか、さらに深い分析も求めたく思いました。(40代・女)</li> <li>・ラグビーなど、これまであまりポピュラーでなかったスポーツを取り上げるのはとても良いと思います。(30代・男)</li> <li>・仲間も増えるだろうし、単純に楽しめそう。(10代・女)</li> <li>・活動の内容、方法ともに素晴らしく、実績もある。この調子での活動の拡大をはかってもらいたい。(20代・男)</li> </ul>
<b>事業名</b>	生活習慣病が気になる方の食教室
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業目的が渦を巻いている。これからはがんばってほしい。(70代・男)</li> <li>・プロ集団の企画、さすがまとまっていた。(50代・男)</li> <li>・参加者にリピーターが多かったという点から内容も充実していたかと思われます。今後、より魅力的な講習会となるよう期待しています。(40代・女)</li> <li>・費用が少ない中で中身のある活動をされている。難しいとは思いますが広報を工夫し、まずは参加者の増大を狙ってもらいたい。(20代・男)</li> <li>・夏休みに参加した小中学生が15名と少なかったが、良い事業なのでもっと増やせると良い。(20代・男)</li> <li>・専門的な立場から貴重な役割を果たしています。今後とも継続を！！</li> </ul>
<b>事業名</b>	『わくわく子ども発明塾』
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とかく枠組みにはめられて窮屈になりがちな子どもの活動が自由な発想で形になっていくようで、これからも続けてほしい活動だと思いました。(40代・女)</li> <li>・子どもたちのアイデアあふれる作品をスライドで見ることができ、面白かったです。とても楽しそうな表情も印象的でした。(30代・男)</li> <li>・事業内容、実績ともに素晴らしい。この調子で頑張ってもらい、さらなる認知向上、参加者増大に努めてもらいたい。(20代・男)</li> <li>・忙しい子供達を集めて何かをしてもらうのは大変ですが、大人の努力の成果と思いました。(50代・男)</li> <li>・多くの子どもたちを対象にし、子どもが育ち八王子から発明家を出してほしいものです。(50代・女)</li> </ul>

<b>事業名</b>	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防は継続的に実施してほしいことなので、自主運営できるような方向に発展してもらえればよいのですが、その点はいかがだったでしょうか？（40代・女）</li> <li>・ヘルパーさんの意識の低さは残念に思いました。（30代・男）</li> <li>・活動の割に実績があまりに低い。もっと地域などとの連携、広報を充実させ、活動内容も工夫していてもらいたい。（20代・男）</li> <li>・地元の人々が講師となり、取り組んでいくという事は良いことだと思います。発表よくわかった。（50代・女）</li> </ul>
<b>事業名</b>	ふるさとの食を拓く
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を得たことで活動が活発になったことはわかりますが、食育を主眼とするならば、大人の感覚ではなく子どもを対象とした内容の充実を望みたいと思いました。（40代・女）</li> <li>・規模がどんどん拡大している点が素晴らしいと思います。八王子にこだわらず日本各地や、世界各国の料理にも拡大し、「ふるさと」を広い意味で捉えられているのを面白く思いました。（30代・男）</li> <li>・事業の目的を明確にし、食の大切さをきめ細かい現地活動を通して行っていると思う。</li> <li>・「旬のものを食卓にのせる」という言葉が印象的でした。（50代・男）</li> <li>・料理教室、農耕教室などが母体となったのは良かったですね。「食文化」を考え、食育を主体としていくのはいいですね。地産品を使用する方法もベストだと思う。八王子にこだわってないみたいですね。（50代・女）</li> </ul>
<b>事業名</b>	学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、研究段階ということで試作品が今後、どのような事業として成熟していくか期待しています。（40代・女）</li> <li>・学生らしく失敗を恐れず、頑張ってください！（30代・男）</li> <li>・「八王子といたらこれ！」というものが無いように思えるので、是非おみやげを作ってほしいです。（10代・女）</li> <li>・タイトルがユニークでいいと思いました。（50代・男）</li> <li>・京都やつくばが見本に。工学院の作ったものを去年した。今年は東大中心に。学生天国といちょうまつりで出したのですね。合格祈願で「みちざね君」の鉛筆はいいね。でも、最近学生さんは鉛筆使うの？シャーペンが多いのでは？（50代・女）</li> </ul>
<b>事業名</b>	炭やきは地球を救う！ 市民炭やき体験と国際交流
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流にもつなげているのが、素晴らしいと思います。（30代・男）</li> <li>・学生の参加が少なかったのが残念。（20代・男）</li> <li>・ニーズがあり、他団体とリンクと将来性がありそうだと思います。（50代・男）</li> </ul>
<b>事業名</b>	まちかど景観レポート募集と発表展示会開催
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・是非、継続・拡大して欲しいと思います。私も恩方市民センターで拝見しました。（30代・男）</li> <li>・アート系のNPOが少ないので発展して欲しいと思いました。（50代・男）</li> <li>・公募はいい考え。展示もいいですね。ポスターを教育機関に配布もOK。HPもいいですが・・・どのくらいの期間展示するのでしょうかね。年齢層がひろくていい。（50代・女）</li> <li>・思い思いの視点で街を見直せる面白い事業だと思います。（20代・女）</li> </ul>

<b>事業名</b>	八王子アマチュア映像祭
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像でとてもわかりやすかったです。賞などを設定してコンクールのようにしても面白いと思いました。(30代・男)</li> <li>・今後いろいろな作品が出てレベルが上がっていくと思います。(50代・男)</li> <li>・実際のフィルムを使用したのはいいですね。会場の様子も良く分りました。フィルムの切り方も上手ですね。来賓をうまく写して編集してますね。作品も良くわかる。発表1番上手。(50代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	NPO法人子どもネット“八王子”子育て支援事業
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたはいつも良くやっているね」との一言のお話、心に残りました。(30代・男)</li> <li>・必要で有意義なネットだと思いました。(50代・男)</li> <li>・子育て支援ご苦労様です。これからの子どもたちを育てていくのは大変な事。支援も多くの人の手が必要だと思われまます。継続的な事業にしてほしい。結果が出るのは20年先。長いスパンの事業ですね。(50代・女)</li> <li>・子育てする親を「認める」講座はあまりないように思うので、継続してほしいです。(20代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	地域特産品の開発(特に桑葉粉製食料品)
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実に桑食品が広がっていると感じました。桑の葉うどん、是非食べてみたいと思います。(30代・男)</li> <li>・今後の活動がとても楽しみです。(10代・女)</li> <li>・広報が課題、一度食べてみたいです。(20代・男)</li> <li>・八王子特産のイメージが付きそうな気がします。(50代・男)</li> <li>・いちようまつりの展示販売で思うような売上げができなかったのは残念でしたね。今、ひといきは何でしょうね。(50代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	八王子ラーメンマップ作成
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラーメンマップ使ってます。今後の活動について教えてくれると良かったです。(30代・男)</li> <li>・見やすく、PRもうまいと感じました。水とラーメンというコンセプトもよかったです。(20代・男)</li> <li>・いいマップだと思いました。デザインもいいです。(50代・男)</li> <li>・36店舗の地図。マスコミもかなり協力しているようで、すごいですね。やはり、ラーメンという庶民的なものを目標にしたのが、良かったのでしょうか。これからも店開拓して下さい。(50代・女)</li> </ul>
<b>事業名</b>	COOL DESIGN CONTEST
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や市民のデザイン力を発掘する大変おもしろいアイデアだと思いました。八王子のイメージを変える可能性を感じました。(30代・男)</li> <li>・本当にまちが明るくなりそうな気がします。これからも、続けてほしいです。(10代・女)</li> <li>・カードがより増えて、たくさんのお店でキャラクターが生まれたら、まちは華やかになると思った。(30代・男)</li> <li>・レベルの高い作品があり、プロ級に近いと思いました。(50代・男)</li> <li>・八王子の商店が中心でした事業なんですね。市民対象にデザイン募集したのはいいですね。コンテスト形式だったのですね。点数が少ないのは残念。ショップカードにするのですね。イラストの活用に期待。(50代・女)</li> </ul>

<b>事業名</b>	たまり場コーディネート・プロジェクト	
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外で遊ぶかどうかと、友人関係のお話はとても参考になりました。(30代・男)</li> <li>・有意義で必要と思いました。(50代・男)</li> <li>・サタデースクール派遣もスタッフをかかえているならいいと思います。地域に対して、シンポジウムをするのもいいですね。中・高校生の居場所を特に考えてほしい。今後の課題。(50代・女)</li> </ul>	
<b>事業名</b>	支援者研修(カウンセリング)講座	
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今からの支援ですね。特に心の支援はいろんな考え方の個人がいるので大変ですね。継続が必要だと思う。(50代・女)</li> </ul>	
<b>事業名</b>	映像文化の普及を通じて地域コミュニティに参加	
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・115本のニュース、取材はすごいですね。地域の報告を図書館に寄付はいいですね。いちようまつり、センターまつりへの参加で地域が広がっていくと思います。(50代・女)</li> </ul>	
<b>事業名</b>	つくろう市民のITセーフティネット、なくそうデジタル・デバイド	
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さすがにプレゼンが映像を使ってきれいでした。(50代・男)</li> <li>・アプリケーションソフトに対応していかなばならない点は今後の課題ですね。パソコンは日々、進歩ありなので今後の対応難しいですね。(50代・女)</li> </ul>	
<b>事業名</b>	障害者のアクトーズスクール(舞台人演劇人養成講座)推進事業	
<b>アンケートでの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルの高い活動が行われているのが伝わってきました。劇の様子などを写真等で見せて頂くとよりイメージがわいたと思います。(30代・男)</li> <li>・ワークショップ賛成。一般市民をもっと巻き込んで。個人の(障害者)良さをしっかり引き出してほしい。自己表現(実現)の拡大に力を入れて。営業(広報)は多くした方がいい。(50代・女)</li> </ul>	
<b>この補助金制度についての意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この企画は市として画期的な事業と思う。これまでの市で行う事業を精査するにも良い企画と思う。できればもっと予算を増やし、広げていただき、市の活性化を期待したい。(70代・男)</li> <li>・耳で聞いて、いかにも現代風という尤もなものへの支出と思われ、皆余裕のある感じで私の考えているものと道が違ふと感じました。健常者以外の生活ぎりぎり以下の底辺の人間にも目を注いでくださる方が増えて欲しいと念願しています。重複支援になるとか、杓子定規に一面だけで判断せず、それらを支えようとする力も育ててくださる様、お願い致します。対象が広すぎる様な感じも致します。文化活動推進が主旨の様で場違いの意見お許しを!!</li> <li>・行政がやる以上に市民の方の活動がとても細かいところに気付き、また、アイデアあふれる楽しいものであると感じました。補助金制度が、市民活動の宣伝につながっていること、また質の向上にもつながっていることも感じました。(30代・男)</li> <li>・さらなる拡大を期待します。(20代・男)</li> <li>・委員長が最後に言っていた言葉はもっともだと思う。市と団体のみだけでなく、団体同士のつながりも生み出せるよう工夫する必要がある。(20代・男)</li> <li>・全体的に補助金が少ない。市民単位のボランティアスタッフ(一般市民)が多いのだからもっと支援額を増やしてほしい。(50代・女)</li> </ul>	



成果報告会についての意見

- ・どの参加事業も市民生活の向上や自主的に献身的に活動されているように感じた。報告時間は少し短いように思う。10分以内ではどうだろうか。(70代・男)
- ・報告会に来られていない団体さんがいたのは残念でした。自らの時間をコミュニティ活動、市民活動にあてておられる各団体の皆さんの意識の高さに感動しました。自身でも何か市民活動につながるアイデアがないかという意識を常にもって生活していきたいと思います。(30代・男)
- ・成果報告会がもっと多くの市民の方が市民活動について知れるきっかけになったらいいなと思いました。(20代・男)
- ・一般参加にも事業費明細を見せて欲しい。もっと一般の方がどんどん参加して意見を出せるよう広報をしっかりとやってもらいたい。(20代・男)
- ・役所との協働、パンフや広報等の協力があっても、人集めは大変だと感じました。(50代・男)
- ・それぞれの団体で補助金は無駄に使ってないので、もっと枠を広げ、制約を少なくして自由に使える資金にしてほしい。(50代・女)

## 7 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者名		
			氏名	所在地・住所	電話番号
活動支援	八王子お手玉の会	鈴木 幸子	鈴木 幸子	八王子市諏訪町391-1	042-651-7074
	八王子市ネオテニス協会	和田 喜久夫	石山 健一	八王子市大和田町1-25-7	042-644-3693
	ムッシュ手づくりパンの会	阿川 好夫	阿川 好夫	八王子市上野町15-4	042-627-4757
	クッキング ピィ	渡真利 紘一	渡真利 紘一	八王子市明神町4-24-3-301	090-2205-2319
	夢あるまちづくり協議会	沼澤 仁	沼澤 仁	八王子市松が谷54-2-501	042-675-5467
	サンエス企画	関口 志津子	関口 志津子	八王子市明神町4-1-2ストーク八王子805	042-648-7855
事業実施	八王子市原爆被爆者の会(八六九会)	中西 靖之	中西 靖之	八王子市北野町526-11	042-643-0306
	八王子環境教育研究会	西條 敬一	西條 敬一	八王子市中野上町1-33-10	042-624-6358
	ぱりあ・ふりいの会	中村 静夫	石原 郁子	八王子市元八王子町3-2153-41	042-661-1805
	長池こどもの居場所作りの会	崎田 京子	崎田 京子	八王子市別所1-116-1	042-679-1201
	特定非営利活動法人八王子子ども劇場	浅野 里恵子	岡田 清香	八王子市明神町4-13-10	042-645-1739
	八王子に学校図書館を育てる会	大橋 道代	篠原 由紀子	八王子市北野台3-46-8	042-635-7756
	特定非営利活動法人八王子チャイルドライン	吉永 鴻一	齋藤 豊	八王子市寺町29-18	042-625-1765
	特定非営利活動法人東京スポーツビジョン21	小泉 修	大貫 泰則	八王子市本町3-4	042-622-0142
	八王子管理栄養士の会ダイエタリー・フレンズ	岩瀬 政子	岩瀬 政子	八王子市片倉町1394-86	042-636-0487
	特定非営利活動法人発明協会	寺澤 靖夫	前田 俊彦	八王子市めじろ台2-21-10	042-661-9291
	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	永戸 祐三	水胤 恵美子	八王子市式分方町812-4	042-620-3287
	NPOふるさとの食を拓く会	星野 厚子	星野 厚子	八王子市狭間町1994-72	042-663-5459
	八王子学生郷土さがし隊!!	吉田 健人	吉田 健人	八王子市明神町4-24-3-301	090-7721-9750
	エコ・ネットワーク八王子	春田 博	二井 隆義	八王子市館町1913-7	042-663-5808
	特定非営利活動法人らいふねっとMOE	菅原 久美子	菅原 久美子	八王子市鹿島4-1-101	042-676-7175
	特定非営利活動法人らいふ舎	関谷 真一	関谷 真一	八王子市中野上町4-4-15	042-624-6322
	八王子アマチュア映像協会	西澤 幹夫	西澤 幹夫	八王子市中野山王2-12-17	042-622-7724
	特定非営利活動法人子どもネット“八王子”	板垣 美保子	板垣 美保子	八王子市緑町115-5	042-625-6909
	特定非営利活動法人地域生活文化研究所	大野 聖二	大野 聖二	八王子市追分町10-4-201	042-624-8110
	八麺会	千種 康民	田倉 洋一	八王子市八日町5-14-602	042-624-2006
	八王子商店研究会	大竹 栄治	大竹 栄治	八王子市中野上町1-26-3	042-623-6311
	八王子子どもの居場所づくりプロジェクト	炭谷 晃男	炭谷 晃男	八王子市別所1-43-11	042-674-0769
	美術集団八王子アンデバンダン	工藤 孝生	工藤 孝生	八王子市桐田町1222-1-1005	042-661-1591
	特定非営利活動法人日本ウェルネット	福田 稔	福田 稔	八王子市台町4-45-17飛鳥ビル2階	042-669-2728
	八王子ビデオクラブ	佐藤 寛	佐藤 寛	八王子市泉町1476-17	042-621-1124
	情報ボランティアの会(八王子)	池宮城 直美	近藤 敦	八王子市大塚643-14ニューオオツカマンション205号	090-9848-0764
AIR-空-パフォーミング・アーツ研究会	風 姫	百瀬 亜希	八王子市中野上町1-22-9	042-626-8086	

平成17年度  
市民企画事業補助金



成果報告書

平成18年7月発行

発行 / 八王子市  
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192 - 8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号  
電 話 042 - 620 - 7401 F A X 042 - 626 - 0253  
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp  
U R L <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatsudo/index.htm>

---